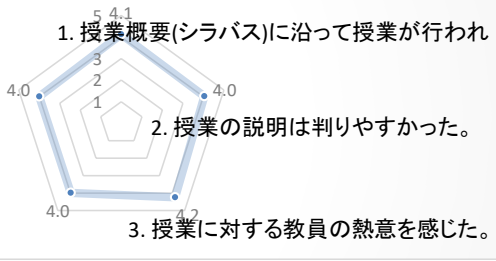
科目コード:　2100　　科目名 健栄1年　専門科目　　回答者数:　413　名

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	135	203	70	2	3	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	159	153	70	23	8	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	185	158	58	9	3	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	137	159	96	16	5	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	138	162	94	13	6	4.0

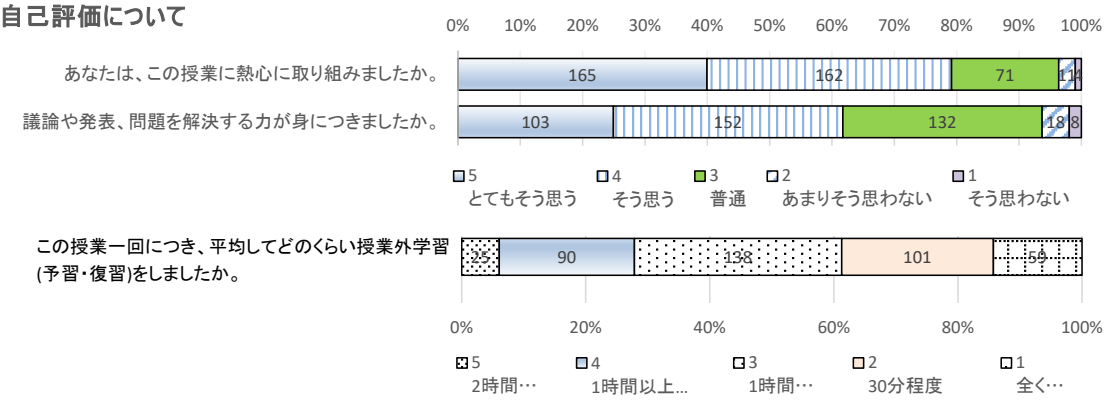
総平均	4.1

1.授業について　～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	165	162	71	11	4	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	103	152	132	18	8	3.8
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	25	90	138	101	59	2.8

2.学習に対する自己評価について



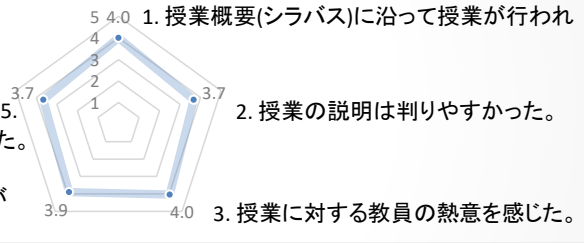
科目コード: 2101　　科目名 基礎生化学　　回答者数: 30 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 講義　　担当者 田中政巳

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	8	14	8	0	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	6	13	7	3	1	3.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	9	14	6	1	0	4.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	8	14	6	1	1	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	7	9	12	1	1	3.7

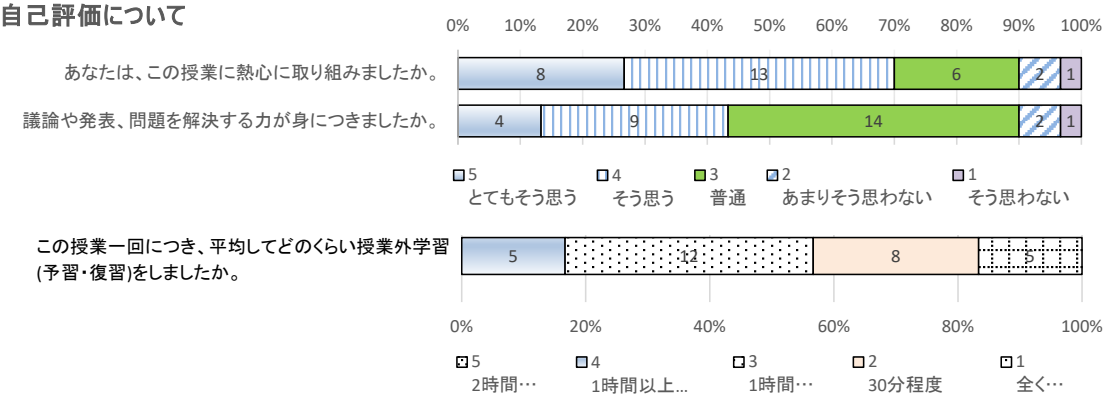
総平均	3.9

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	8	13	6	2	1	3.8
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	9	14	2	1	3.4
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	5	12	8	5	2.6

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
説明が分かりにくかったとの指摘が多かった。分かりやすくなるよう意図し、図表を多用して説明したが、かえって要点がつかみにくくなってしまったかもしれない。

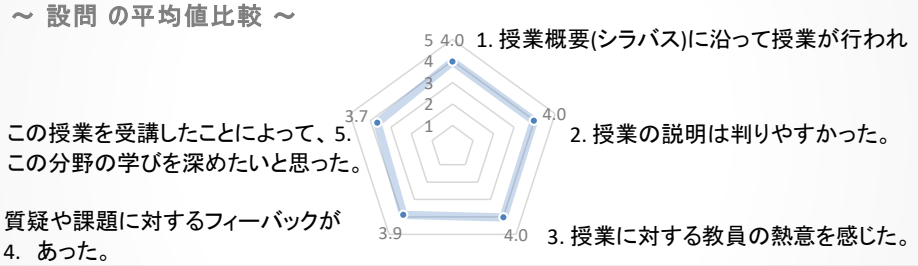
②課題と展望(授業改善方策)
使用する図表等の資料を整理し、また説明内容の量を検討して、説明が分かりやすくなるよう努めたい。

科目コード: 2102　　科目名 食品学総論　　回答者数: 33 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 講義　　担当者 田中佑季

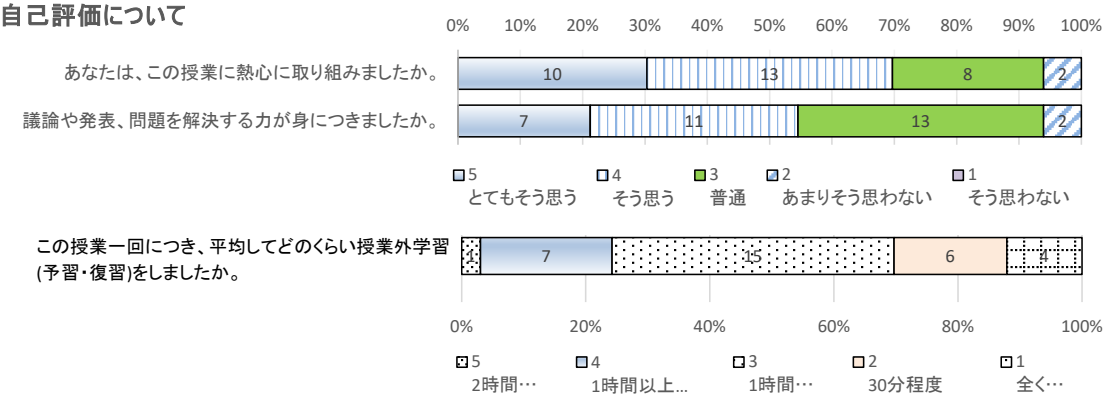
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	7	18	8	0	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	8	17	7	1	0	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	9	17	6	1	0	4.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	8	14	10	1	0	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	7	12	10	4	0	3.7
						総平均	3.9

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	10	13	8	2	0	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	7	11	13	2	0	3.7
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	7	15	6	4	2.8

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
アンケートの1・2を選択する学生が少なく、多くの学生が理系科目に関わらず頑張って学習をしたのではないかと思う。
クラス内の雰囲気としては、内容を理解できている学生とそうでない学生の差が大きい。
リメディアルや授業後の質問など、態勢は整えているが不安に見える学生ほど積極性が無い。
現状以上が必要なのであれば、リメディアルのような補習授業は成績によって参加を強制させるべきと考える。

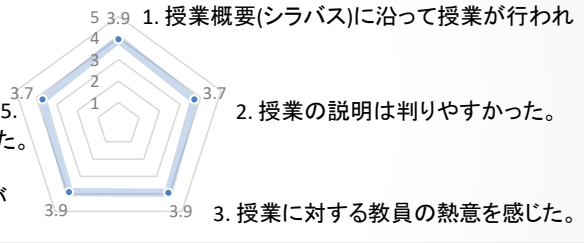
②課題と展望(授業改善方策)
あくまでテスト結果のみの話ではあるが、前年と比較して、今年度の試験内容を充実させたため範囲が広がり難易度が上がっている。
しかし、試験結果は前年度よりも非常に良く、30分短縮とは言え、授業が出来たことがこの結果につながったと考える。
コロナ対策を考えると難しい事は承知しているが、できる限り対面での授業を行う事が学生の成績向上に繋がるのではないか。

科目コード: 2103　　科目名 食品学実習　　回答者数: 30 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 実習　　担当者 田中佑季

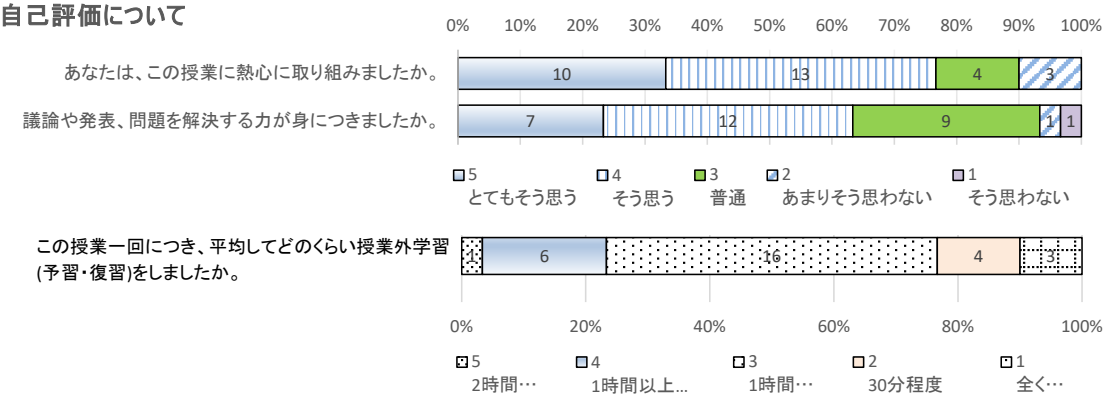
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	6	17	6	1	0	3.9
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	8	9	10	2	1	3.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	8	15	5	1	1	3.9
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	9	13	5	2	1	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	6	13	8	2	1	3.7
						総平均	3.8

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	10	13	4	3	0	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	7	12	9	1	1	3.8
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	6	16	4	3	2.9

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
理系科目に関わらずほとんどの学生が5～3にチェックを付けているため、ある程度の学習成果は得られたと考える。

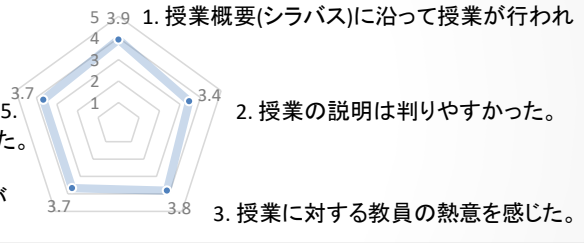
②課題と展望(授業改善方策)
対面授業が出来たため、前年度より内容を充実させることが出来た。
非常に積極的に授業参加をする学生が散見された。
一方で、作業自体は楽しんでいるが、その作業の意味を理解しきれていない学生が見られた。
元々の理系科目の知識量の差が激しく、できるだけ多くの学生に理解できるように努力をしたが、
理解が出来ている学生は非常に退屈している様子が見られた。
個人ごとにレポートにコメントを載せて理解の必要な点を指摘しているが、完全に網羅することは難しい。
作業自体は楽しんでいるようなので、クラス内の様子を見つつ、最大公約数的な考えで進めたい。

科目コード: 2104　　科目名 基礎栄養学　　回答者数: 27 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 講義　　担当者 藤井 茂

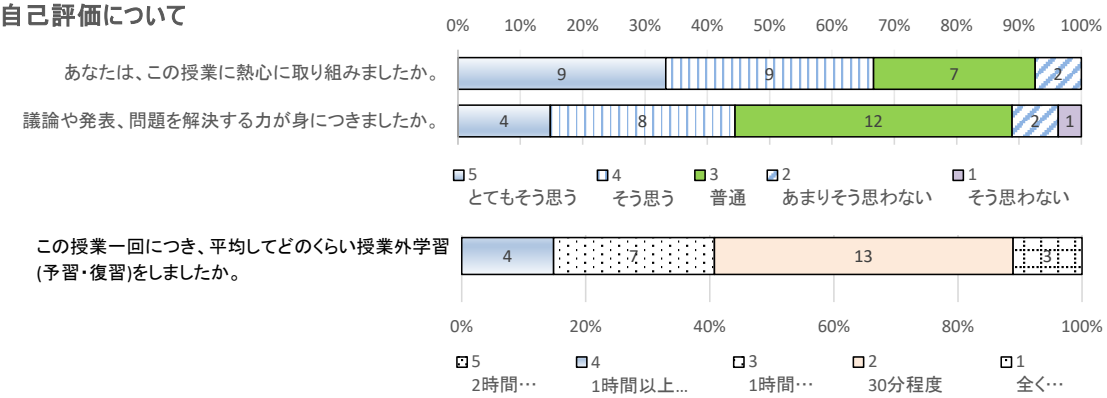
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	15	7	0	0	3.9
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	10	7	6	0	3.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	5	13	8	1	0	3.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	8	12	0	1	3.7
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	12	9	2	0	3.7
						総平均	3.7

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	9	9	7	2	0	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	8	12	2	1	3.4
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	7	13	3	2.4

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

アンケート結果から、①授業概要に沿って授業が行われていた。(3.9)③授業に対する教員の熱意を感じた。(3.8)④質疑や課題に対するフィードバックがあった。(3.4)⑤この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。(3.7)②授業の説明は分かりやすかった。(3.9)と高ポイントを示す回答であった。また、この授業に熱心に取り組みましたか。(3.9)、議論や発表、問題を解決する力身につきましたか。(3.4)の平均的評価が示された。しかし、この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習にをしましたかの問いに対して、2時間以上(0%)、1時間以上2時間未満(14.8%)、1時間未満(25.9%)、30分程度(48.1%)、全くしない(11.1%)となり、1時間未満、30分程度を合わせると74.0%と約7割の学生が予習・復習時間が少ない傾向がみられる。予習の小テストを毎時間導入することの効果を期待したが結果として現れていないことが認められた。

②課題と展望(授業改善方策)

今年度も、新型コロナのため面接授業が少なくなった部分を予習により補う授業の進め方であるため、学生の理解がどの程度の水準であったかは評価の需要ポイントである。今年度の学生アンケート結果は、在籍数に対して回答率が50%程度と低率であるため総合的な学修に対する評価は参考程度にとどめたい。基礎栄養学は、栄養学の基礎を学ぶ上で最も重要な科目であるが、高校時代に化学の基礎的知識を学んでこなかった学生に対する授業の理解度を高めていくことが重要な課題となった。

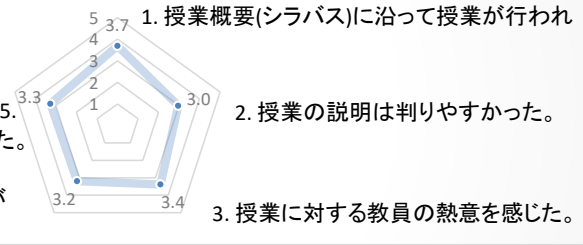
科目コード: 2105　　科目名 栄養指導論Ⅰ　　回答者数: 26 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 講義　　担当者 篠原能子

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	7	8	9	0	2	3.7
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	3	10	6	3	3.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	5	5	12	3	1	3.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	4	4	12	5	1	3.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	4	14	3	1	3.3

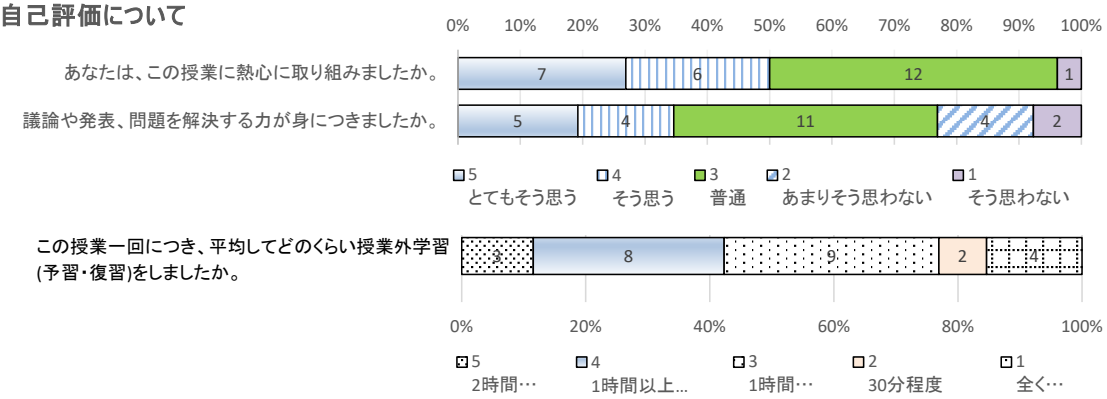
総平均	3.3

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	7	6	12	0	1	3.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	4	11	4	2	3.2
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	8	9	2	4	3.2

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

初めての試みとはいえ受講者数の半数に満たない回答者数であったことは意外だった。設問1(授業について)の評価については、全体評価総平均と比較して0.8ポイント低く、設問2(学習に対する自己評価について)の(1)(2)についてはそれぞれ0.4、0.6低かったが、授業時間外学習については0.4ポイント高かった。

設問1については、板書はしない代わりに空欄に書き込めるように要点をまとめたプリントを毎回配布したが、書き込み方に差が見られたので、その結果が評価に現れたのではないかと考察する。また設問2の(1)(2)については、栄養士資格を取得する意識の有無が30分課題の書かれた内容にも反映されているのではないかと考察される。

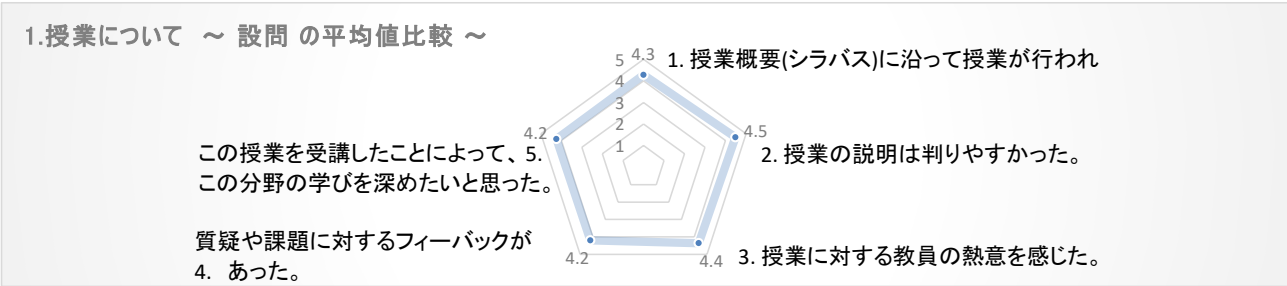
②課題と展望(授業改善方策)

この結果を真摯に受け止め反省して、後期に向けて評価1，2が評価3以上になるよう努めたい。

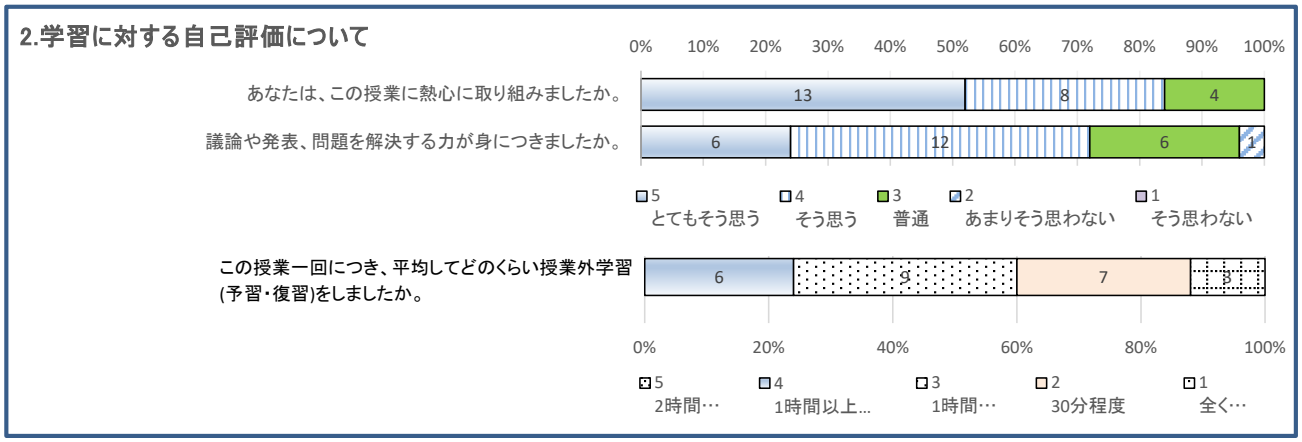
科目コード: 2106　　科目名 調理学　　回答者数: 25 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 講義　　担当者 古俣智江

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	11	10	4	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	15	7	3	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	11	12	2	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	10	11	3	1	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	11	10	3	1	0	4.2
						総平均	4.3



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	13	8	4	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	6	12	6	1	0	3.9
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	6	9	7	3	2.7



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

調理学は1年次前期開講科目であり、短大入学後すぐに受講する科目の一つである。その中で、学生たちは真剣に講義を受講してくれていたと強く感じる。講義形式の授業であるため発表する力などは高く身につけられる機会があまりなかったように考えるが、来年度以降、講義中の質問の中での学生と教員との会話の中で、コミュニケーションを取りながら、授業を展開してきたいと考える(総平均4.3)。

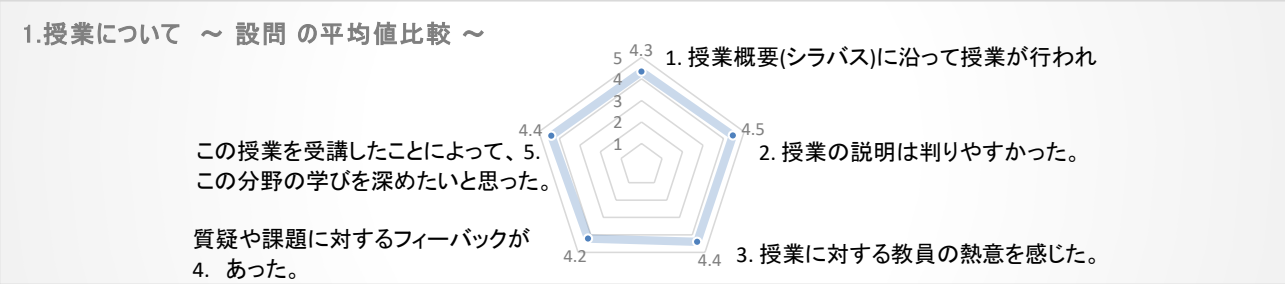
②課題と展望(授業改善方策)

本授業は、高校卒業後すぐに触れる授業という観点から、分かりやすい授業を心掛けることにしている。今年度はほとんどが圧縮授業となったため、講義プリントを作成し、それを用いての授業とした。例年、授業中に行っていた小テストは30分課題として、学習内容の定着を図るよう努力した。圧縮授業での授業であったため、すべての内容を教えるためには、時間管理が難しかったことと、講義内容が盛りだくさんになってしまい講義の展開が早すぎたことが反省である。内容をさらに吟味したうえで、重要なポイントを逃さないように講義をしていきたいと考える。今年度は、講義プリントを使用することにより、板書をノートに転記する時間を省くことができたと考えるため、来年度も同様の形式で授業を実施したいと考えている。

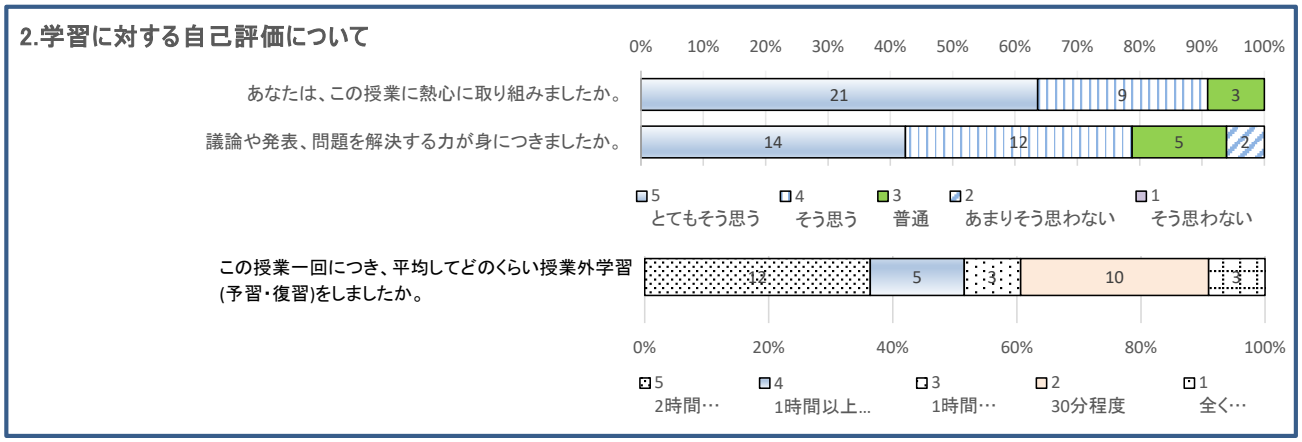
科目コード: 2107　　科目名 調理学実習Ⅰ　　回答者数: 33 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 実習　　担当者 古俣智江

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	15	14	4	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	19	11	2	1	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	17	13	2	1	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	14	13	5	1	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	18	12	2	0	1	4.4
						総平均	4.4



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	21	9	3	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	14	12	5	2	0	4.2
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	12	5	3	10	3	3.4



アンケートに対する教員所見

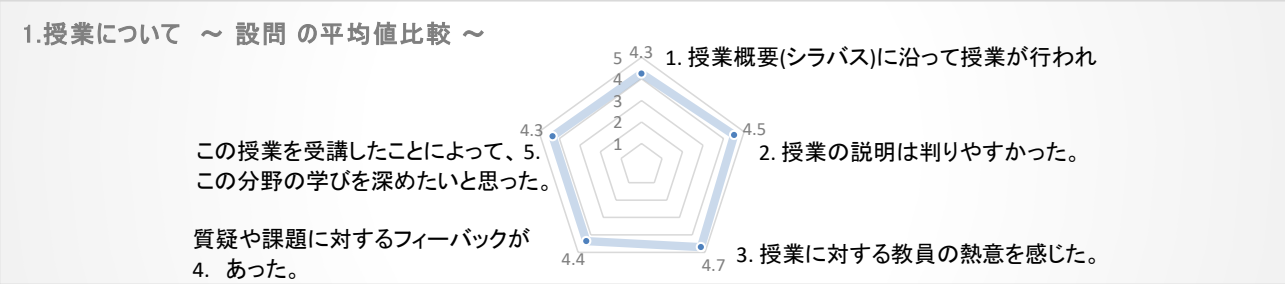
①現状(アンケート結果に対する考察)
　短大入学後すぐに開始される実習である「調理学実習Ⅰ」では実習の基礎を学ぶ授業となっている。高校までの調理実習とは異なる形式の授業に戸惑う学生もいるが、栄養士免許を取得するための授業ということで、緊張感をもって実習に臨んでいる。ほとんどの学生が本実習に熱心に取り組んでくれていることから、栄養士にとってとても大切な授業の一つとして認識してくれていると考える。また、実習後に反省会を設けているが、発表とフィードバックの良い機会のなっているため、継続していきたい(総平均4.4)。

②課題と展望(授業改善方策)
　高校までの調理実習と異なる点は、楽しいだけの実習ではないということである。栄養士免許取得という大きな目標があるため、栄養士に必要な知識や技術、衛生観念を身につけなければならない。本実習では各回の実習報告で実習ノートの作成を行い、やりっぱなしの実習をしないようにしている。実習作成ノートは2年次の校外実習の報告書作成につながっており、重要な内容となるが、途中でノートの点検や指導を行っても、ノート作成をため込んでしまう学生もいるため、来年度はさらに力を入れて学生指導していきたいと考える。

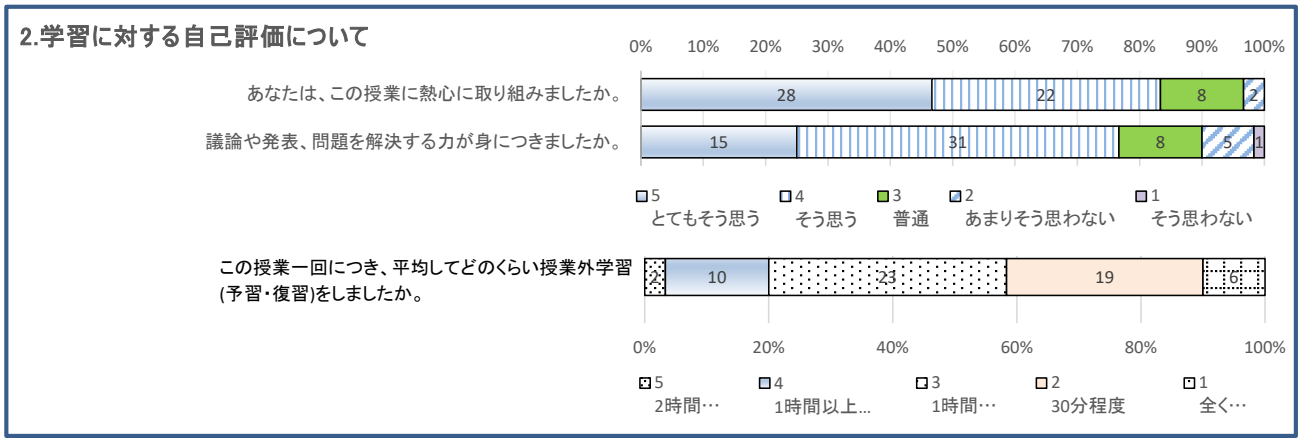
科目コード: 2108　　科目名 給食計画論　　回答者数: 60 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 演習　　担当者 大 雅世

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	22	32	5	1	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	35	23	1	0	1	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	43	16	1	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	28	26	5	1	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	28	24	8	0	0	4.3
						総平均	4.4



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	28	22	8	2	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	15	31	8	5	1	3.9
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	10	23	19	6	2.7



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

学生が苦手とする計算問題や練習が多く、授業評価は3ポイント代と予想していたが、なんとか総合ポイントが4.4と4ポイント代に入ることができたので「授業概要」の学習目標から大きく外れてはいないと考えている。しかし、「この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。」のが4.3ポイントと、この中では一番低い。もっと授業内容の必要性を理解してしてもらえるよう授業の構成を検討する。

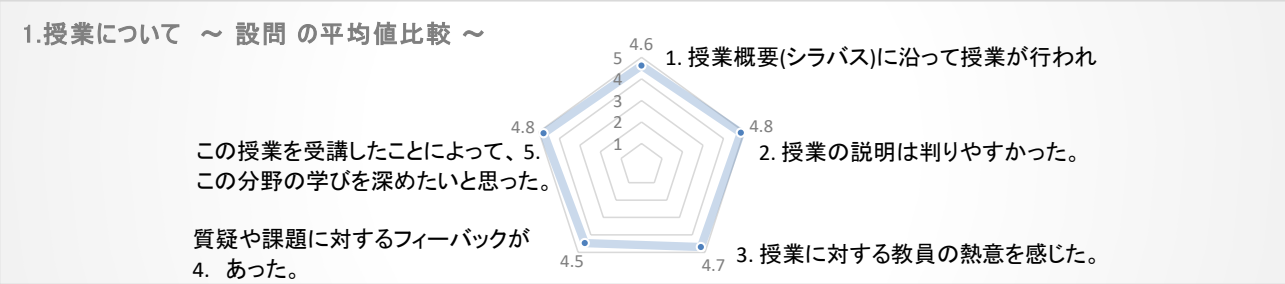
②課題と展望(授業改善方策)

今回、試験での不合格者について、計算のどの部分の理解が苦しいか確認していった結果、四捨五入に対し、整数や少数第一位等の言葉の理解不足や、分数が混じる計算の計算手順が分からず、電卓があっても答えを間違うということが補習を行うことで発見できた。必要なことは個別対応していくことで、底上げができると考える。

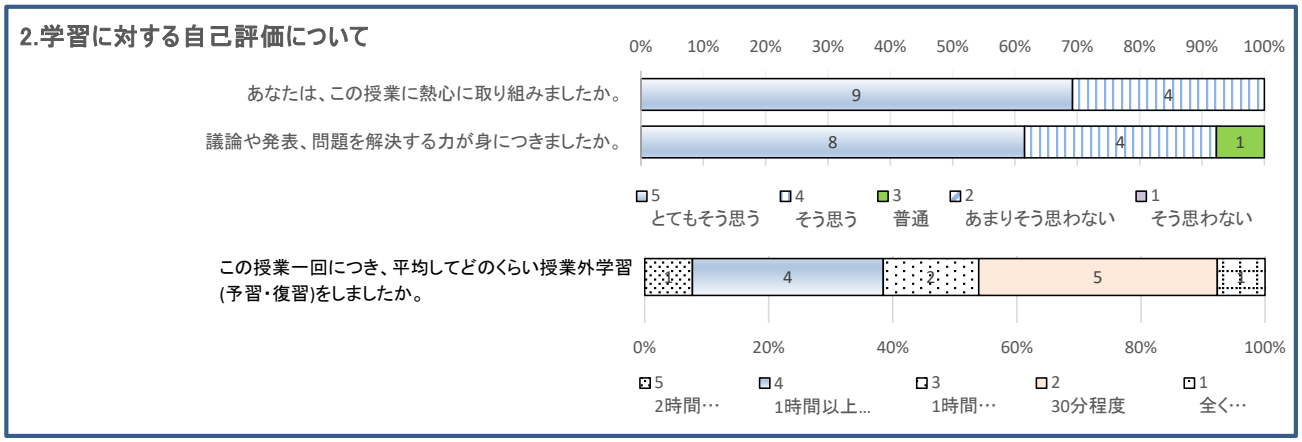
科目コード: 2109　　科目名 教職原論　　回答者数: 13 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 講義　　担当者 馬場和久

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	8	5	0	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	11	2	0	0	0	4.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	9	4	0	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	7	5	1	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	10	3	0	0	0	4.8
						総平均	4.7



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	9	4	0	0	0	4.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	8	4	1	0	0	4.5
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	4	2	5	1	2.9



アンケートに対する教員所見

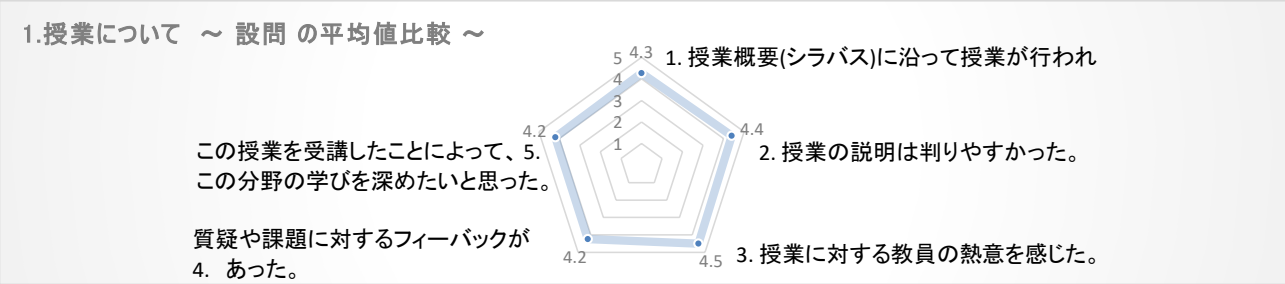
①現状(アンケート結果に対する考察)
・全体的には比較的高い満足度を示していると言える。1年先生の段階での教職科目であることから、学生主体の学びを意識し、グループでの調べ学習や発表、教材の作成等について扱ってきたことから、興味を持って楽しく参加していたように感じられた。

②課題と展望(授業改善方策)
・栄養教諭を目指す1年生の前期の学修と言うことで、今後も教職への入門ということを意識しながら、幅広い内容で進めていきたい。また、コロナ禍にあって、今後の授業形態がオンラインになることも想定されるが、少しでも学生の主体的な学びとなるよう工夫した授業を行ってきたいと考えている。

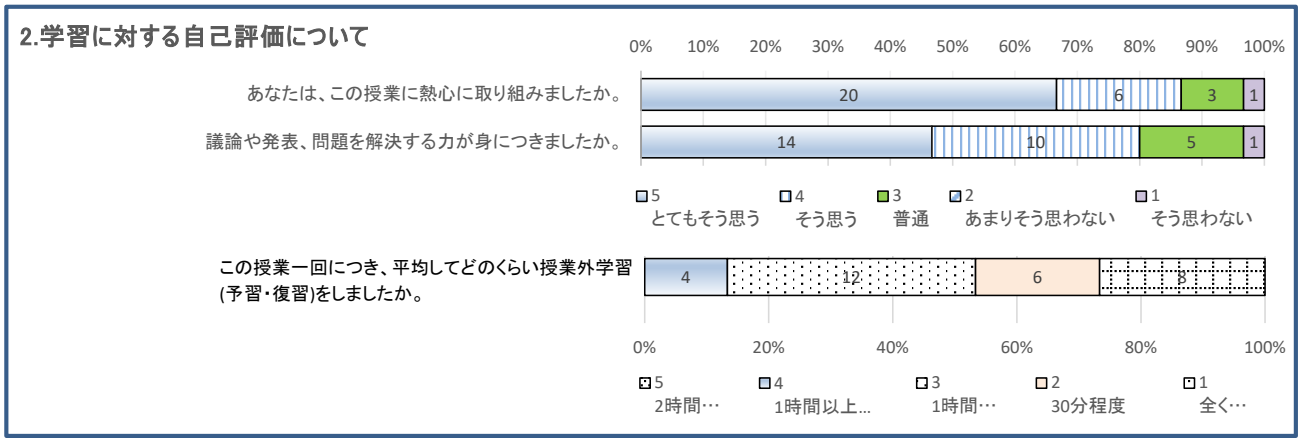
科目コード: 2110　　科目名 教育原理　　回答者数: 30 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 講義　　担当者 倉澤俊夫

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	17	6	6	0	1	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	20	4	5	0	1	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	21	5	3	0	1	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	18	4	6	1	1	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	14	10	5	0	1	4.2
						総平均	4.3



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	20	6	3	0	1	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	14	10	5	0	1	4.2
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	12	6	8	2.4



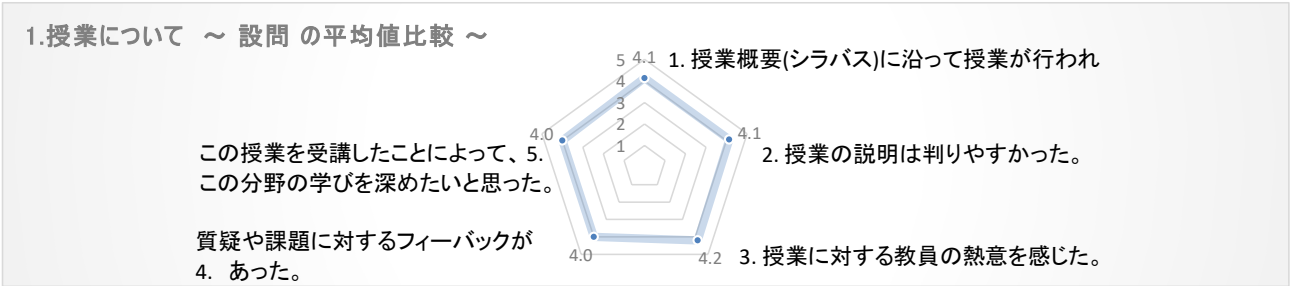
アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
自分の思った以上に教育に関しては何も知らない学生が多きことに驚きを覚えた。シラバスを遵守しながら、講義内容の教育の基礎基本に絞り、かなり詳しいパワーポイントの資料を用意し、授業に取り組んだ。概ね、授業についての分かりやすさについては評価されたと考えている。また、人数が少ないこともあり、毎回、タブレットを活用し、自力学習の時間を設定したこともよかった。今後栄養教諭の道を考えたいなど、進路について考える機会ができたことはよかった。
②課題と展望(授業改善方策)
前期は60分の講義の中で授業を進めるためにかなり詳しいパワーポイントの資料を用意したが、今後は書くことも取り入れていくために、資料の改善に努めたい。また、コロナ禍で話し合い活動に制限があり、意見交換が思うように進まなかった面があったので、今後はコロナ禍での話し合い、意見交換の方法に工夫を加えていきたい。

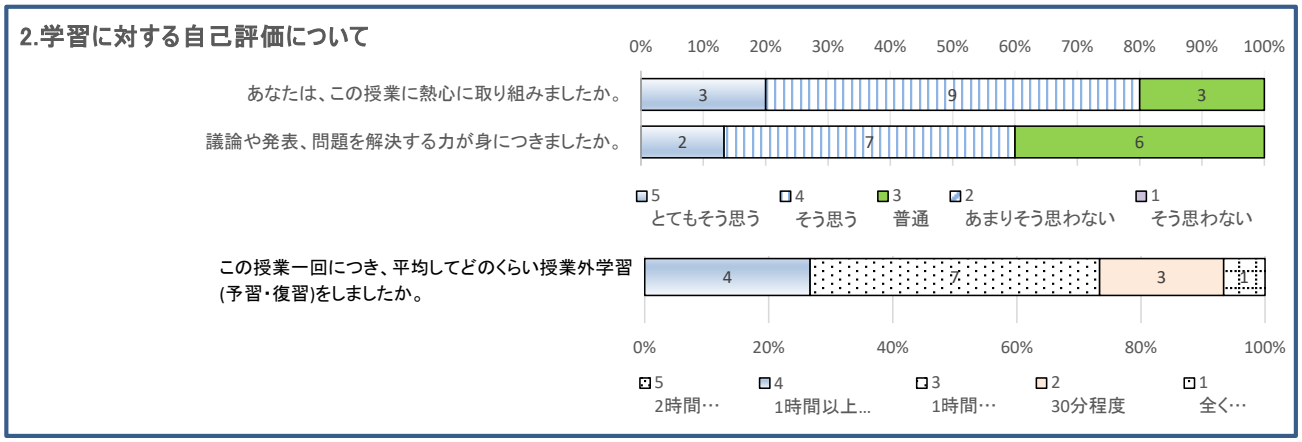
科目コード: 2111　　科目名 フードスペシャリスト論　　回答者数: 15 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 講義　　担当者 冨重慶子

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	3	11	1	0	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	3	11	1	0	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	4	10	1	0	0	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	2	11	2	0	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	2	11	2	0	0	4.0
						総平均	4.1



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	3	9	3	0	0	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	2	7	6	0	0	3.7
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	7	3	1	2.9



アンケートに対する教員所見

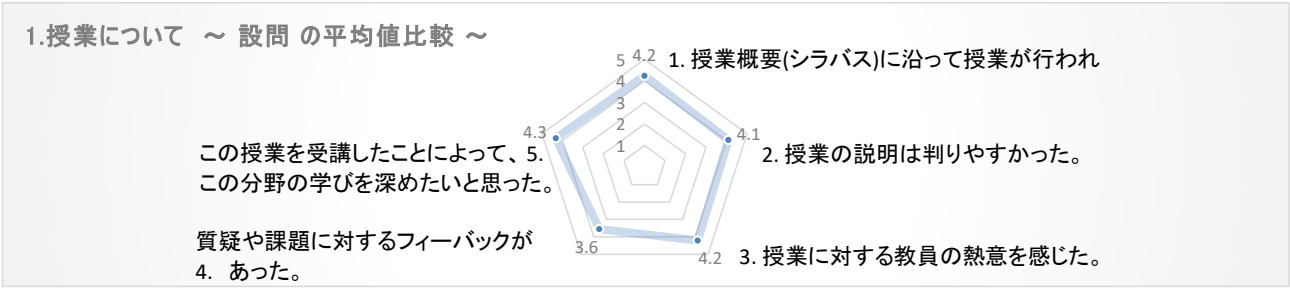
①現状(アンケート結果に対する考察)
　資格試験のための授業のため、テキストに忠実にまた、漏れのないように注意して授業を準備し行った。そのため、範囲が多くなり、短縮授業の中でそれを行うことが難しく、学生にとって少しわかりにくい授業になってしまったのではないかと考える。短縮授業の中ではもう少し工夫しなければいけなかったかもしれない。

②課題と展望(授業改善方策)
　今後も過去問は漏らさず行って行きたいと考えている。今年度は時間の関係で課題にするのみであったが、今後は課題＋授業内での解答の確認を丁寧に行っていきたいと考えている。

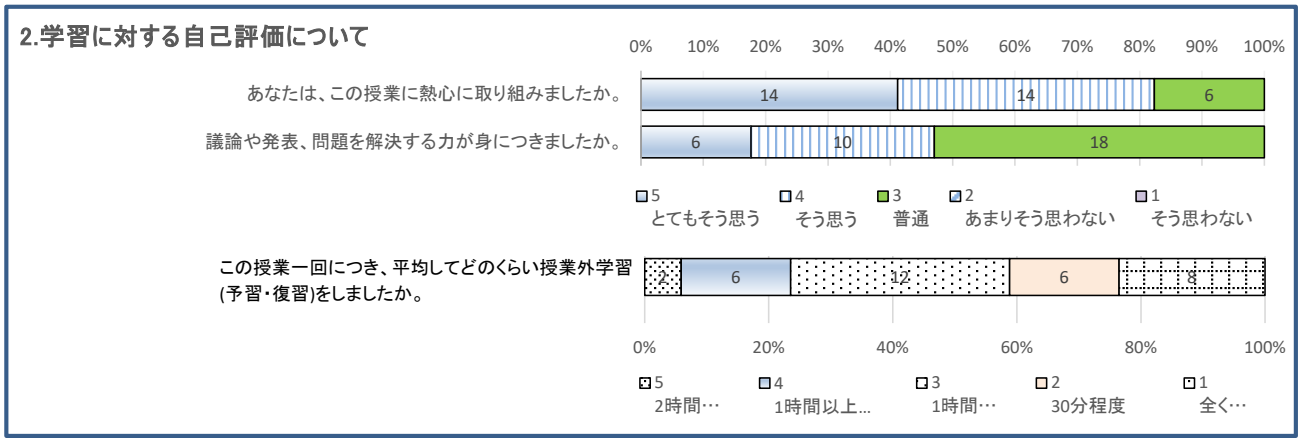
科目コード: 2112　　科目名 製菓・製パン入門Ⅰ　　回答者数: 34 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 講義　　担当者 武藤 隆

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	14	14	6	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	13	11	10	0	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	14	13	7	0	0	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	5	12	14	3	0	3.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	15	15	4	0	0	4.3
						総平均	4.1



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	14	14	6	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	6	10	18	0	0	3.6
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	6	12	6	8	2.6



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
アンケート結果から、授業に対する点数は平均4.1と可もなく不可もない結果と思っている。一方通行の授業になりがちで、反省点は大いにあると感じて居る。必修科目や免許必修科目ではない製菓製パン入門Ⅰに一生懸命取り組んでもらった。

②課題と展望(授業改善方策)
アンケート結果から、この科目に興味を持った学生が選択しており、期待して受講したと思っている。設問Ⅰの結果より講義の進め方の工夫が必要と考えている。一方通行の講義から、学生が参加できる形態への変化をして行きたい。授業については全員が良かったと答えており満足度は得られていると感じている。

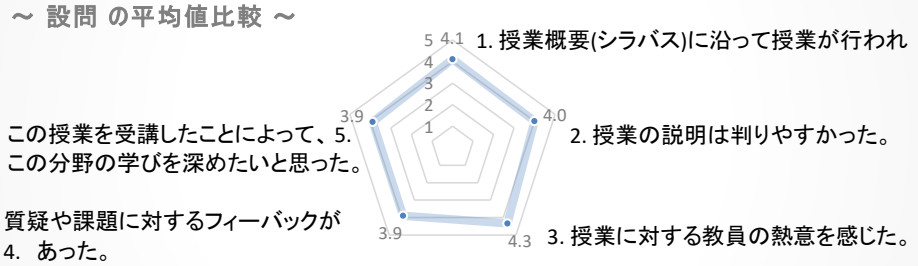
科目コード: 5101　　科目名 食文化概論　　回答者数: 9 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 講義　　担当者 大越光雄

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	2	6	1	0	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	3	4	1	1	0	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	4	4	1	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	2	4	3	0	0	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	2	4	3	0	0	3.9

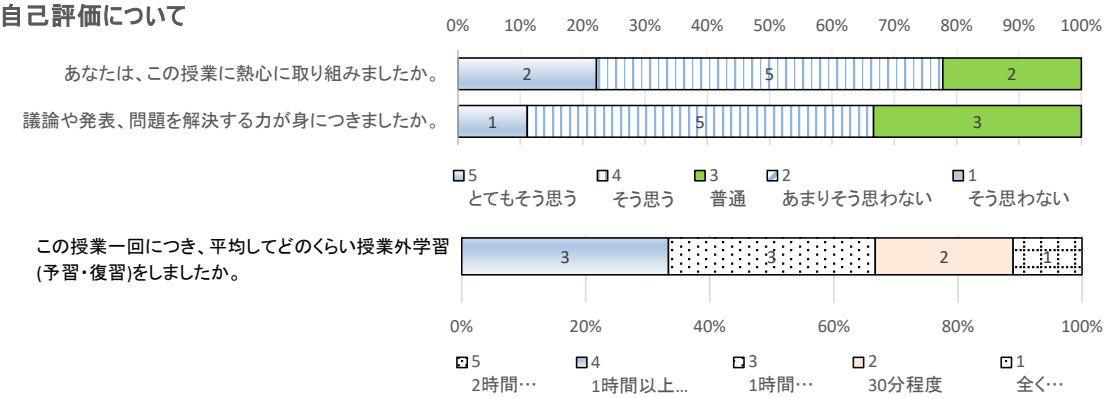
総平均	4.0

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	2	5	2	0	0	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	1	5	3	0	0	3.8
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	3	3	2	1	2.9

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
　全設問平均が4.0と、満足するには至ってないが、概ね安定した授業内容であり、学生にとっても理解できたのではないかと思われる。しかし、設問5の(4)、(5)については、4.0に至らず、改善・工夫が必要であると考えている。・

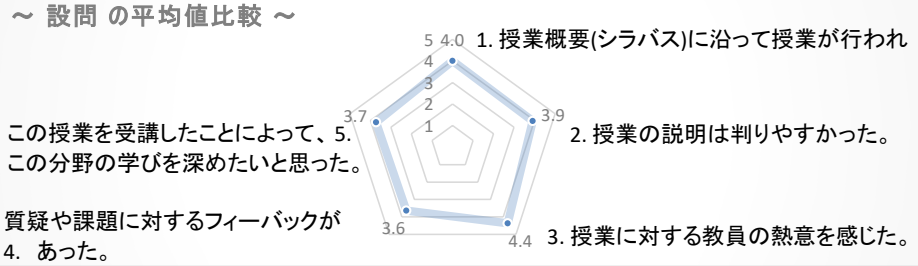
②課題と展望(授業改善方策)
　当科目の履修期間が1年次の前期ということから、特に、調理師という職業に魅力を感じさせるような授業の展開が必要だと考えている。具体的には、テーマ毎に要点を丁寧に説明しながら板書を工夫すること。さらに質疑応答の機会を設けながら、理解を深めることが必要だと思っている。また、設問Ⅱ(3)授業時間外学習については2.9と低く、今後、事前学習や課題レポートなどを検討し、授業への興味が向上するように改善していきたい。

科目コード: 5102　　科目名 栄養の特性Ⅰ　　回答者数: 11 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 講義　　担当者 西條奈緒美

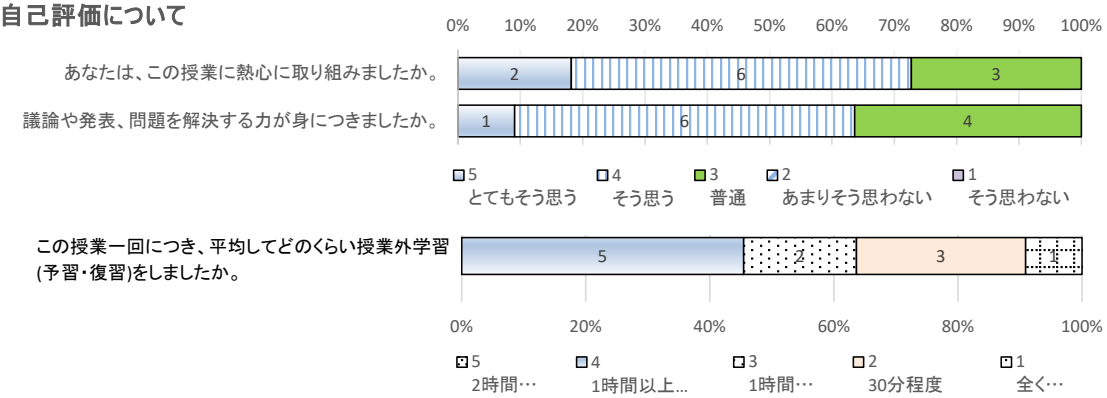
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	2	7	2	0	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	2	7	1	1	0	3.9
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	5	5	1	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	1	5	5	0	0	3.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	1	6	4	0	0	3.7
						総平均	3.9

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	2	6	3	0	0	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	1	6	4	0	0	3.7
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	5	2	3	1	3.0

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
　この結果から授業の進め方や説明について満足度が低かったことが伝わってくる。授業に対しての熱意が伝わったことはとても良かったと思うが、学生の説明に対しての理解度の確認やフィードバックの要望に対応できていなければ、熱意があっても無意味にもなり得る。それらをふまえての授業改善が必要である。

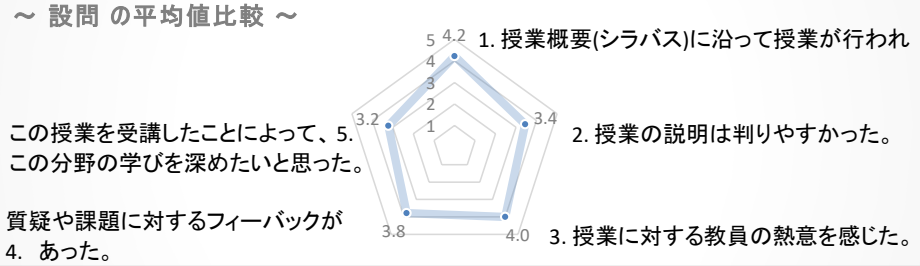
②課題と展望(授業改善方策)
　予習課題や復習課題を確認しつつ授業を進めてはいたが、授業時間の都合上とはいえ、学生の様子をきちんと観察できていなかったため、説明が不足しているところもあったと感じる。
　ゆえに、授業時間がどのような状態であっても、それに対しての工夫を怠ることなく、個々の学生の様子を観察し、学生とコミュニケーションをとり、学生の理解度を確認した上で授業を進められるよう研鑽していきたい。

科目コード: 5103　　科目名 食品の特性Ⅰ　　回答者数: 9 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 講義　　担当者 田中佑季

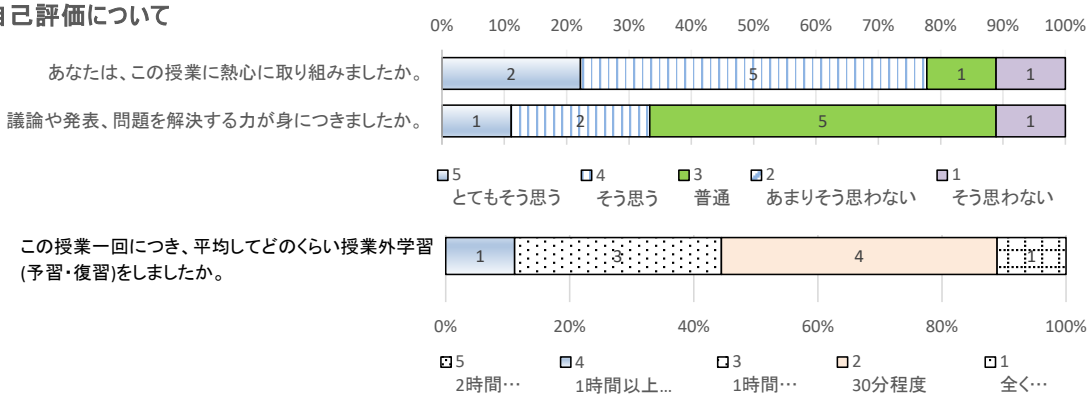
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	2	7	0	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	1	4	3	0	1	3.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	3	4	1	1	0	4.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	2	4	2	1	0	3.8
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	2	1	4	1	1	3.2
						総平均	3.7

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	2	5	1	0	1	3.8
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	1	2	5	0	1	3.2
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	1	3	4	1	2.4

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
アンケートの1・2を選択する学生が少なく、多くの学生が理系科目に関わらず頑張って学習をしたのではないかと思う。

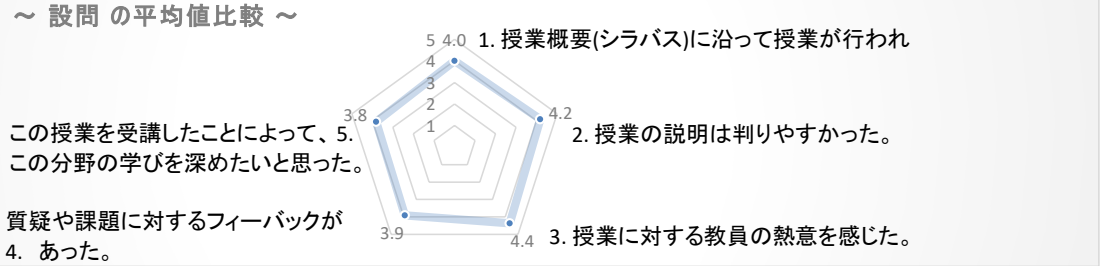
②課題と展望(授業改善方策)
あくまでテスト結果のみの話ではあるが、前年と比較して、今年度の試験内容は範囲が広がり難易度が上がっている。
しかし、試験結果は前年度よりも非常に良く、30分短縮とは言え、授業が出来たことがこの結果につながったと考える。
コロナ対策を考えると難しい事は承知しているが、できる限り対面での授業を行う事が学生の成績向上に繋がるのではないか。

科目コード: 5104　　科目名 調理理論Ⅰ　　回答者数: 11 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 講義　　担当者 西條奈緒美

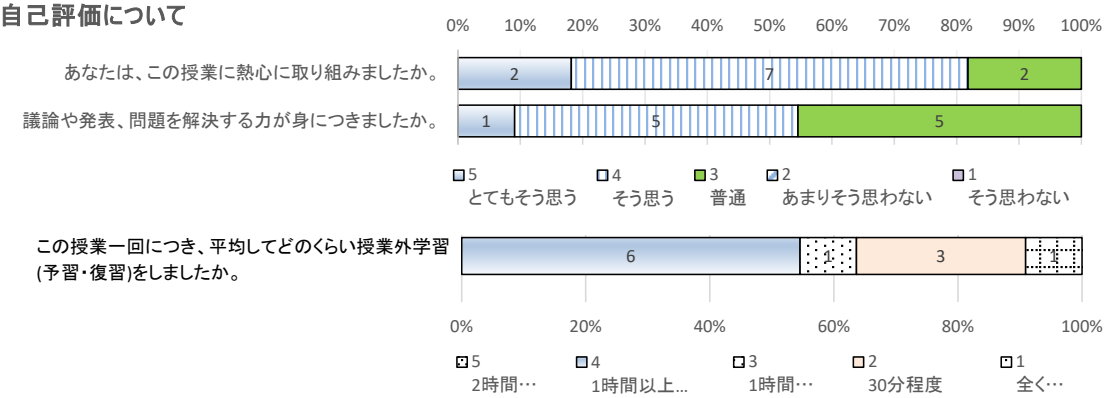
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	2	7	2	0	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	3	7	1	0	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	5	5	1	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	2	6	3	0	0	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	2	5	4	0	0	3.8
						総平均	4.1

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	2	7	2	0	0	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	1	5	5	0	0	3.6
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	6	1	3	1	3.1

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

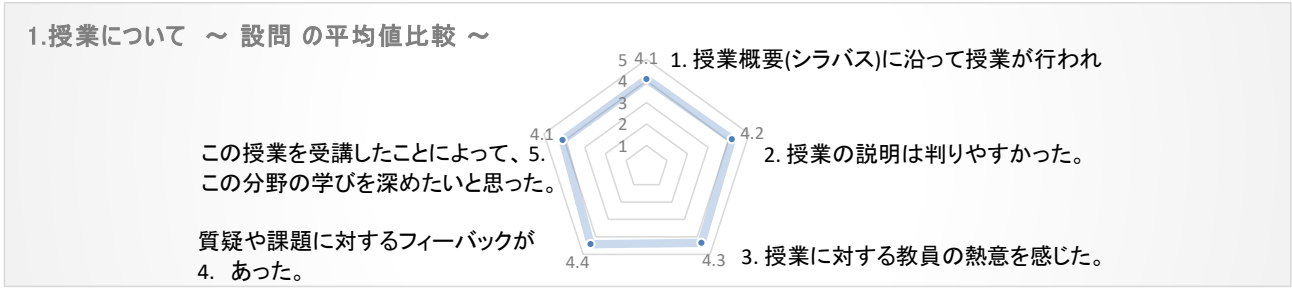
①現状(アンケート結果に対する考察)
　評価として可もなく不可もないように感じる。「あまりそう思わない」以下の評価がなかった点よかったと感じるが、当該学生の学ぶ学科として、本科目の知識を深めることは大変意義があると感じるため「学びを深めたい」と多くの学生が感じる授業出なかったことについて改善しなければならい。

②課題と展望(授業改善方策)
　すべての設問において、「普通」以上の評価であるが「そう思う」が最も多い。それを「とてもそう思う」を増やすようにする必要があるが、具体的にどのようにすることが学生が望むものであるのか、この結果では推察し難い。
　ゆえに、個々の学生の様子を観察し、学生とコミュニケーションをとり、学生が求めるものをふまえた授業ができるよう研鑽していきたい。

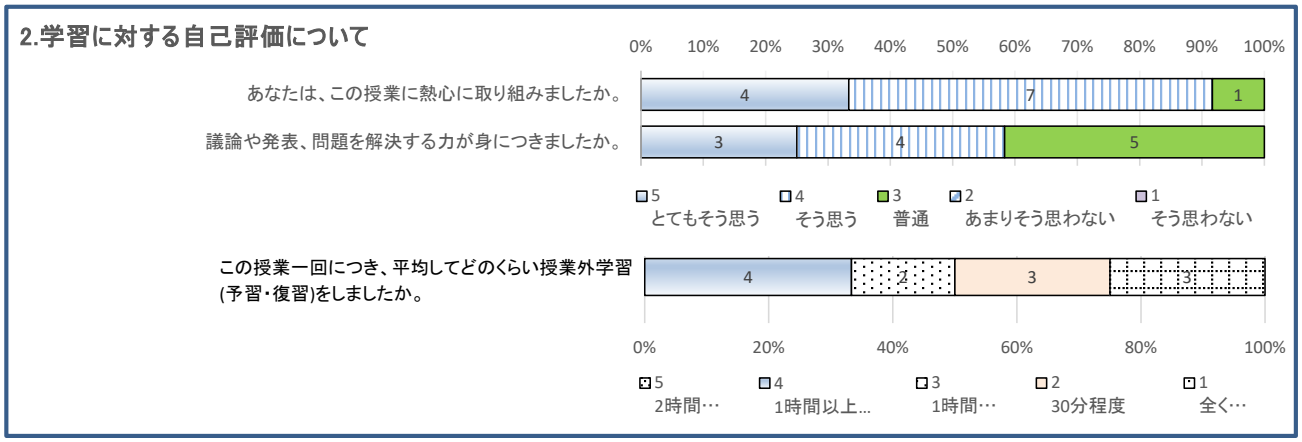
科目コード: 5105　　科目名 基本調理実習(日本料理)　　回答者数: 12 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 実習　　担当者 福田 馨(他)

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	3	7	2	0	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	6	2	0	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	5	6	1	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	5	1	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	3	7	2	0	0	4.1
						総平均	4.2



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	4	7	1	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	4	5	0	0	3.8
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	2	3	3	2.6



アンケートに対する教員所見

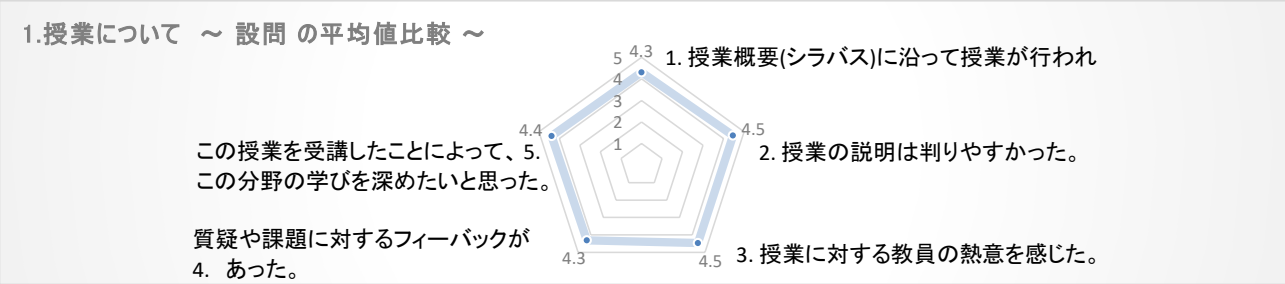
①現状(アンケート結果に対する考察)
アンケート結果より、総平均は4.2であり、なんとか学生の満足度は保てたのではないかと推測する。オムニバス形式で数人の先生が対応しているが、滞りなく終えられたと感じる。フードバックの項目が4.4となっているが、時間外学習での取組み項目の数値が2.6と低いことは、後期授業に向けて今後検討が必要と考える。

②課題と展望(授業改善方策)
時間外での取組みについて。主に実技について、積極的に練習するように呼びかけること。ノートについては、引き続き、書き方のアドバイスとサンプルを張り出し、見やすく、料理を再現しやすい記入をこころがけるよう伝える。

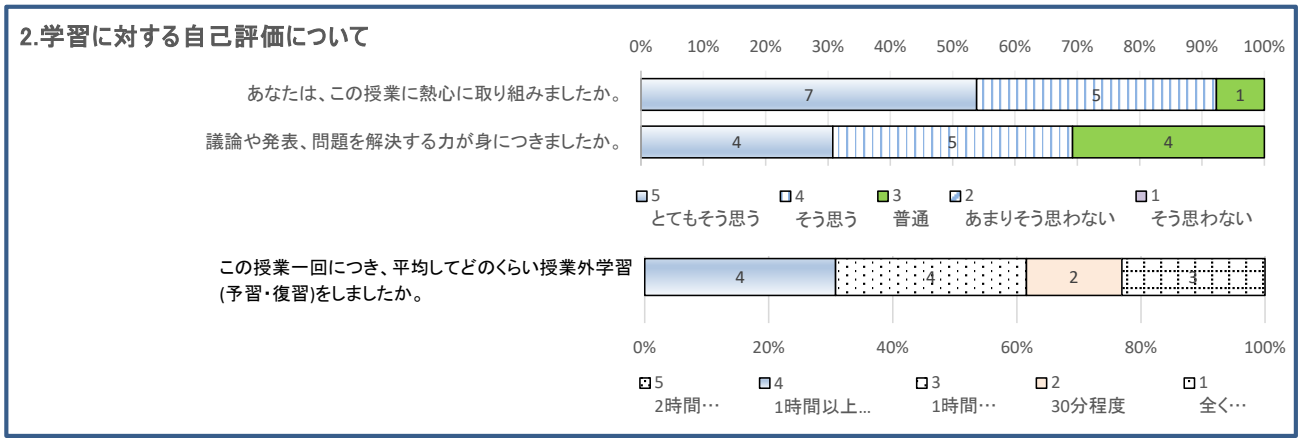
科目コード: 5106　　科目名 基本調理実習(西洋料理)　　回答者数: 13 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 実習　　担当者 田中辰也(他)

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	7	1	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	7	5	1	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	8	3	2	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	5	2	0	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	7	4	2	0	0	4.4
						総平均	4.4



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	7	5	1	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	5	4	0	0	4.0
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	4	2	3	2.7



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
アンケート結果より、総平均が4.4であり、「授業概要」の学習目標に到達できたと考えている。しかし、設問Ⅱ、(3)この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたかの設問については平均2.7に留まっており、時間外学修が定着していないことが明らかとなった。調理師免許取得のための必修科目であり、学生が興味を持ち、時間外学習が習慣化されるような工夫が今後の課題であると考える。

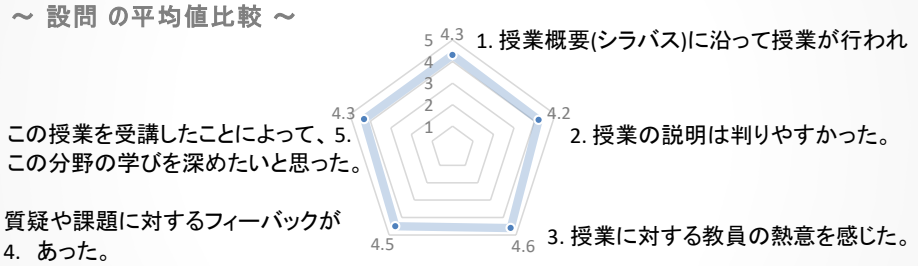
②課題と展望(授業改善方策)
調理技術の定着にバラつきがあると感じた。技術習得には繰り返しの訓練が必要であり、個別に課題を与え、フィードバックするなどして、全員が水準以上の技術を習得できるようにする必要がある。全調協調理技術検定の課題等を活用して授業展開していきたいと考えている。

科目コード: 5107　　科目名 基本調理実習(中国料理)　　回答者数: 10 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 実習　　担当者 大越光雄(他)

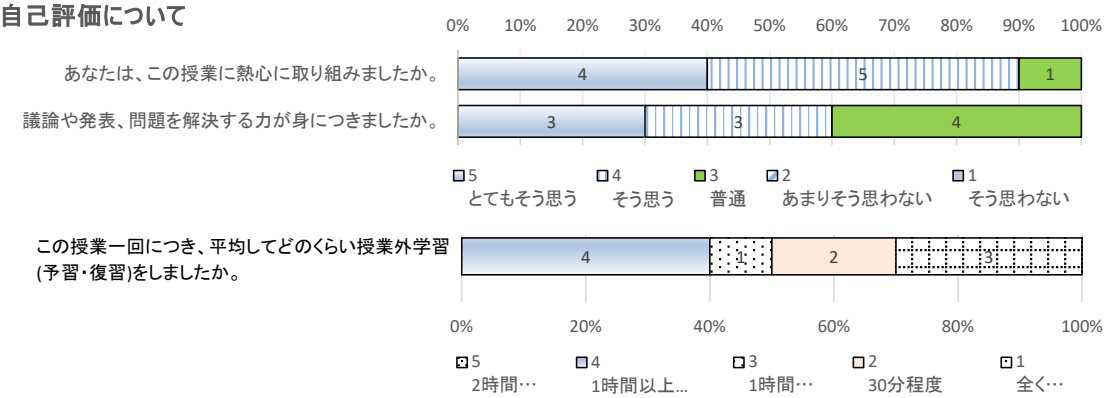
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	4	5	1	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	3	1	1	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	7	2	1	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	3	1	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	5	1	0	0	4.3
						総平均	4.4

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	4	5	1	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	3	4	0	0	3.9
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	1	2	3	2.6

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

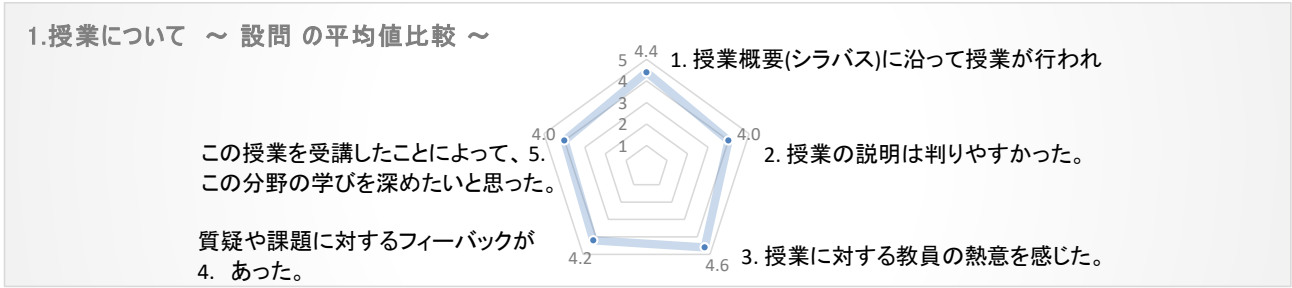
①現状(アンケート結果に対する考察)
授業アンケートによる評価は、全項目の総平均が4.4と、概ね学生にとって授業内容が理解できたものと思われる。授業についての設問3については、学生に興味・関心を持って臨ませることを重点目標として授業外学習の課題を作成したが、平均1時間未満と少なく、他の項目と比べ劣っていたことは反省すべきことである。結果全般としては、学生が興味を持って意欲的に取り組んでくれたものと思っている。

②課題と展望(授業改善方策) くく
各項目全体について4.5ポイン以上に上げられるように工夫していきたい。また、授業外学習(予習・復習)について学生が主体的に取り組めるような課題設定を検討したい。

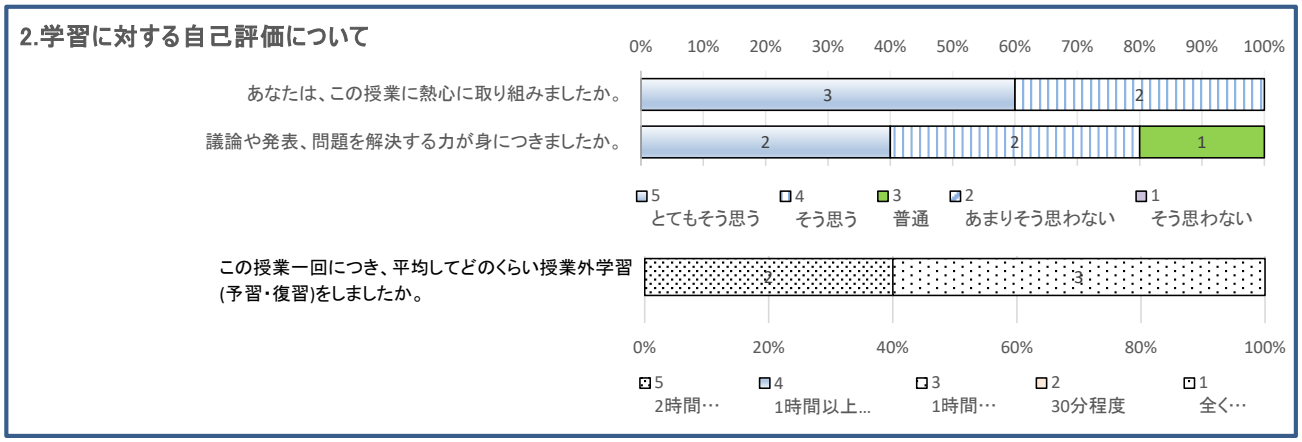
科目コード: 5108　　科目名 食品学実習　　回答者数: 5 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 実習　　担当者 田中章男

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	2	3	0	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	2	2	0	1	0	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	3	2	0	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	2	2	1	0	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	1	3	1	0	0	4.0
						総平均	4.2



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	3	2	0	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	2	2	1	0	0	4.2
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	0	3	0	0	3.8



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
　アンケート結果が物語っているように、5人の学生は毎回の実習ごとに本科目の重要性を学び取っていく姿が見てとれた。最初は実験になれないせいもあり、実習に困惑している学生が何人か見られたが、回を重ねていくうちに、面白味を感じたようであった。特に、最後のまとめである個人別による発表会では、5人とも見事にこなして見せたので、素晴らしいと感じた。本来、調理製菓専攻の学生が本科目を受講する意味は、2年時の後期に実施する「フードスペシャリスト資格認定試験」のために単位が必要ということからである。今年度の5人の受講生も、そのためである。したがって、もともと食品学実習を受講したくて受けている学生はほとんどいないのである。何人かの学生が、本科目に対し最初よりもずっと成長した者がいたことは喜ばしことであった。

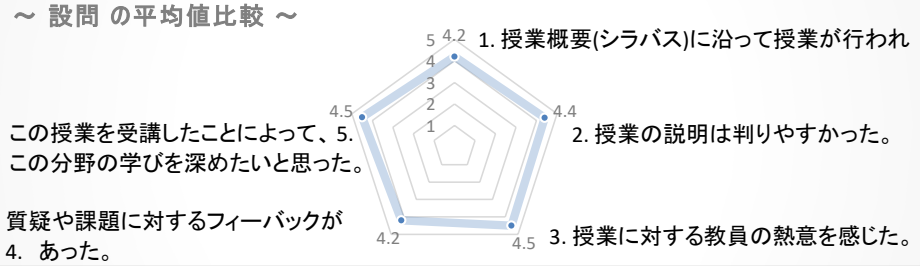
②課題と展望(授業改善方策)
　本科目はの名称は栄養士専攻と同じであるので、シラバス内容が違っていることに学生が困惑しているようにも感じられた。名称が同じであれば、講義内容は統一する方が良いと思うので、来年度は、私ではなく現在講義されている栄養士専攻の田中先生が受け持たれた方が良いと感じている。ご検討の程よろしく。

科目コード: 5109　　科目名 製菓・製パン実習Ⅰ　　回答者数: 10 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 実習　　担当者 武藤 隆

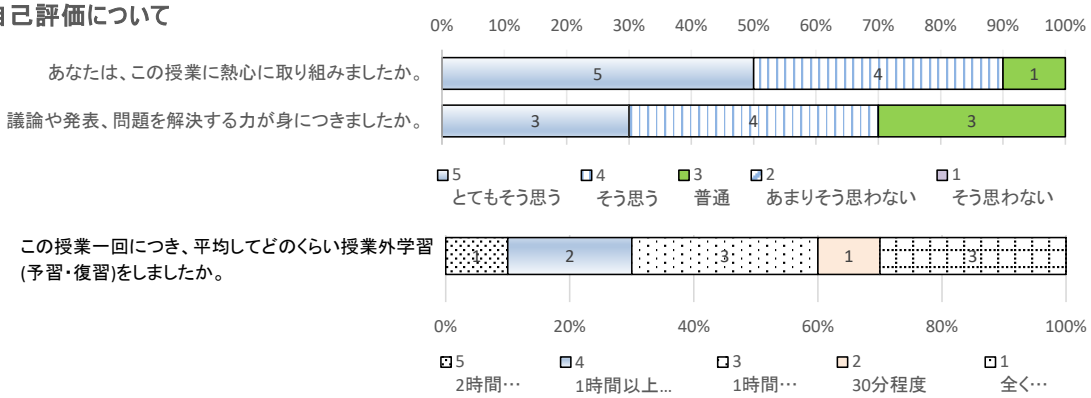
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	4	4	2	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	4	1	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	6	3	1	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	4	4	2	0	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	6	3	1	0	0	4.5
						総平均	4.4

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	5	4	1	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	4	3	0	0	4.0
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	2	3	1	3	2.7

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

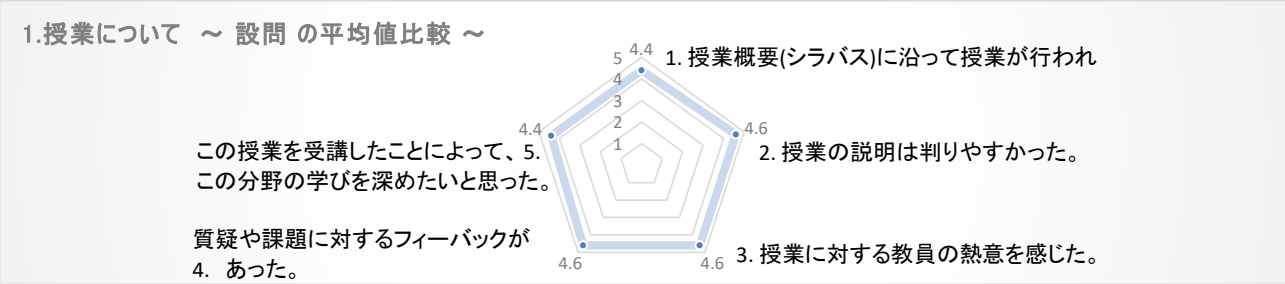
①現状(アンケート結果に対する考察)
アンケート結果より授業についての平均値4.4とほぼ満足と言う結果であった。実習という授業形態の為、予習に対する取り組みがバラバラになっているが、授業では次の内容の説明を行い、どのようなものなのか調べるように指導している。学生も好きな科目で授業に対する取り組みは高評価になっている。

②課題と展望(授業改善方策)
大きな改善点はないと思うが、製菓は基本になる部分からファッション的な流行の菓子があるので、いろいろ取り交ぜて実習を行っていきたい。又ノート作成について、書けない学生が多く、今一度ノートの書き方の指導があってもよいと思った。

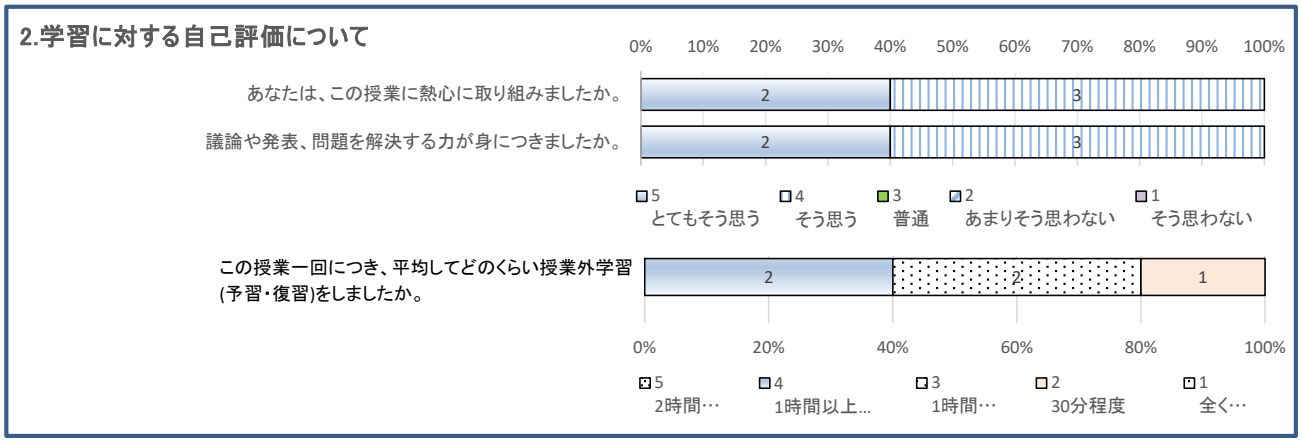
科目コード: 5110　　科目名 色彩計画基礎　　回答者数: 5 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 演習　　担当者 大野琴絵

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	2	3	0	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	3	2	0	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	3	2	0	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	3	2	0	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	2	3	0	0	0	4.4
						総平均	4.5



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	2	3	0	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	2	3	0	0	0	4.4
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	2	2	1	0	3.2



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
今回は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、1コマ90分授業のうち、60分のみの対面授業だったため、対面での作業時間を十分にとることが出来なかった。時間短縮ではあったが、例年通りのシラバスの内容を全て無事にこなすことが出来た。例年行われているグループワークは今年度は行わなかったため、少し単調な作業となってしまった。対面授業短縮のため、全体的に例年と比べるとクオリティが低いように思えたが、最後には作業にも慣れ、それぞれの力を発揮することが出来た。また、作業ペースがそれぞれ異なることから、予習復習の時間には差が出たと考える。履修者5名と開講ギリギリの人数だったため、1人1人に十分に時間を取ってアドバイス等を行う時間が確保出来たが、それぞれの項目に対して、数人が「とてもそう思う」ではなく「そう思う」と回答しているのは、質問の多い学生に対して、付きっ切りでサポートしている時間が多かったことが原因ではないかと推測する。

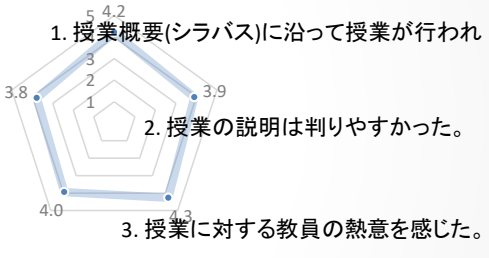
②課題と展望(授業改善方策)
対面では60分授業のため、発表へのフィードバックの時間も新型コロナウイルス流行前に比べて少なくなってしまっているため、ポータルサイトやプリント等の配布の機会を増やし、フィードバックに更に厚みを持たせるよう工夫や、各学生均等な机間巡視が出来るよう更なる配慮が必要である。また、グループワークも感染拡大防止に十分に配慮しながら行えるよう準備を進めたい。

科目コード:　2200　　科目名 健栄2年　専門科目　　回答者数:　589　名

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	220	282	84	1	2	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	170	237	140	37	5	3.9
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	262	232	88	5	2	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	176	235	156	18	4	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	142	226	175	38	8	3.8

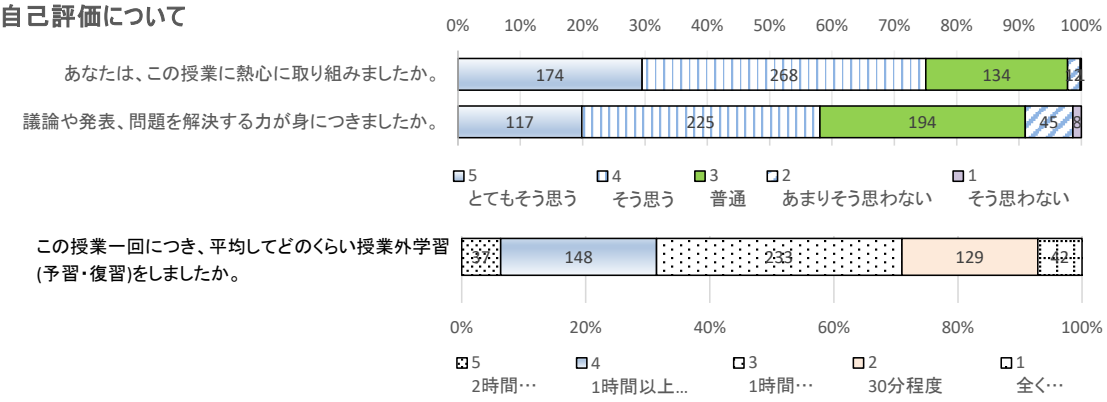
総平均	4.0

1.授業について　～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	174	268	134	12	1	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	117	225	194	45	8	3.7
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	37	148	233	129	42	3.0

2.学習に対する自己評価について

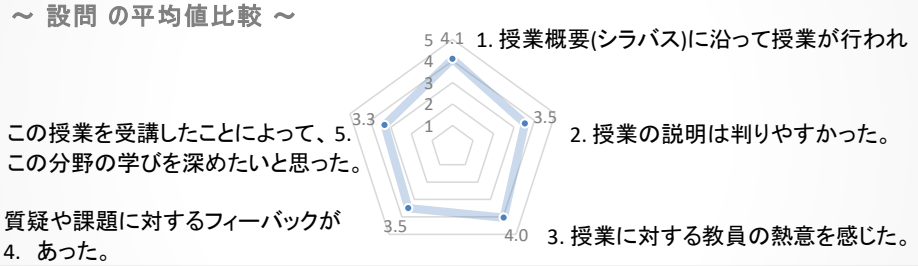


科目コード： 2201　　科目名 公衆衛生学Ⅱ　　回答者数： 45 名

学科・学年： 健2年 授業形態： 講義　　担当者 本藤 良

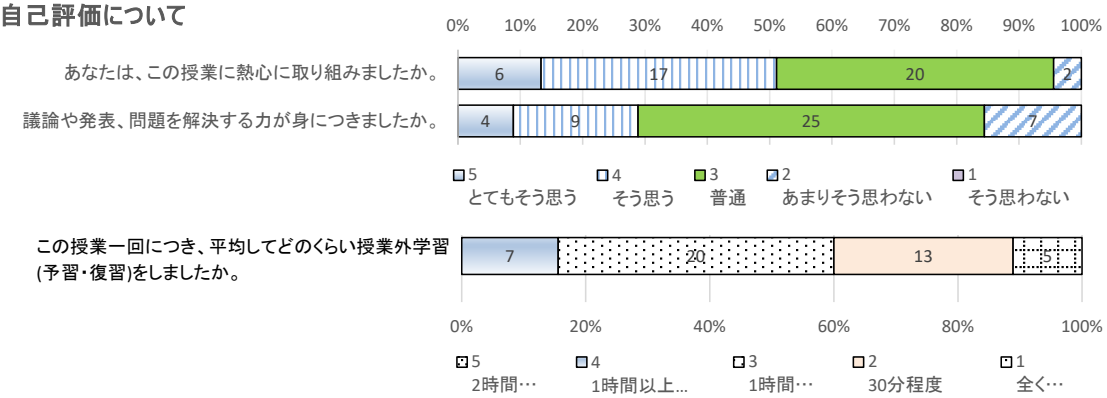
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	12	25	8	0	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	20	14	6	0	3.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	13	22	9	1	0	4.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	5	16	21	2	1	3.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	13	21	7	0	3.3
						総平均	3.7

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	6	17	20	2	0	3.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	9	25	7	0	3.2
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	7	20	13	5	2.6

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)：公衆衛生学は、栄養士関連領域において、極めて重要な応用学科目の一つである。また、その対象範囲は広範にわたっているため講義課題の体系が大変な学科目でもある。
公衆衛生学Ⅱでは、わが国における社会保障と社会福祉および公衆衛生に係わる法令と疫学に関する基礎知識を習得することと、わが国における公衆衛生の現状を把握し、国際的対比から、その問題点を考察することにポイントをおいて講義を進めた。
アンケートの結果では、昨年度の各項目平均4.3ポイントに対比し、平均3.7ポイントと、0.6ポイントの低下があった。その起因の一つとして、コロナ禍による短縮授業の影響も考えられる。その点に関しては、課題小レポートの提出で調整と補填を図り、講義目的をほぼ達成したものと捉えている。学生の受講態度は概ね真面目で熱心であった。

②課題と展望(授業改善方策)
次年度においても、従来年度の授業方式で、必要に応じてはシラバスの変更を図り、講義を実施したい。学生諸君には、事前に講義プリントを配布しますので、各自、予習と復習に勉め、理解度を高めることに期待する。

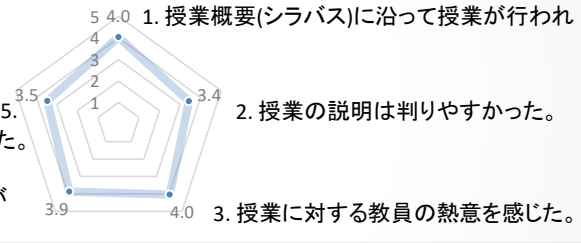
科目コード： 2202　　科目名 生化学　　回答者数： 30 名

学科・学年： 健2年 授業形態： 講義　　担当者 田中政巳

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	8	15	7	0	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	10	11	5	0	3.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	8	15	7	0	0	4.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	4	18	8	0	0	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	3	11	14	1	1	3.5

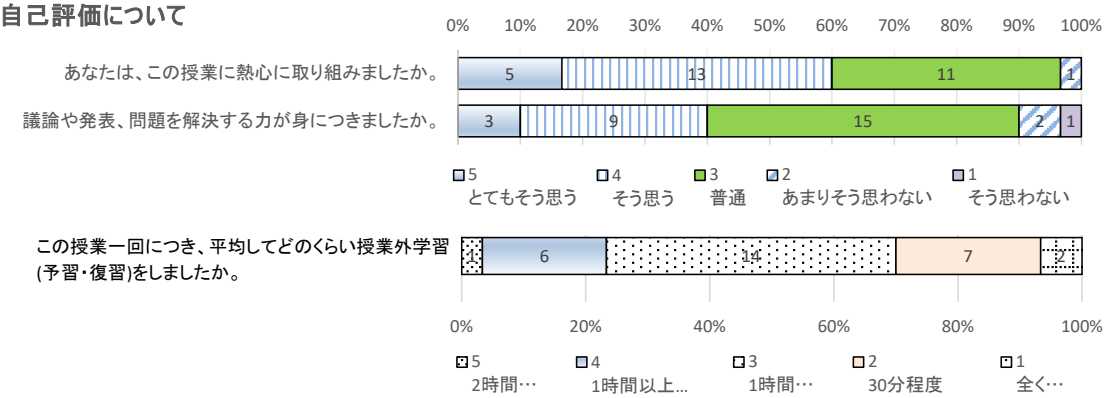
総平均	3.8

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	5	13	11	1	0	3.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	9	15	2	1	3.4
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	6	14	7	2	2.9

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
説明が分かりにくかったとの指摘が多かった。分かりやすくなるよう意図し、図表を多用して説明したが、かえって要点がつかみにくくなってしまったかもしれない。

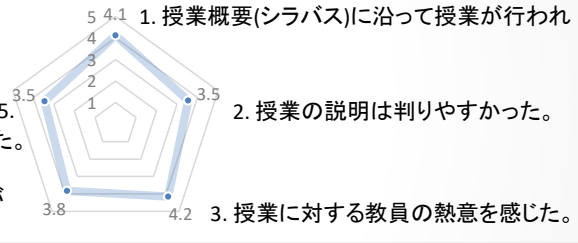
②課題と展望(授業改善方策)
使用する図表等の資料を整理し、また説明内容の量を検討して、説明が分かりやすくなるよう努めたい。

科目コード： 2203　　科目名 生化学実習　　回答者数： 33 名

学科・学年： 健2年 授業形態： 実習　　担当者 田中政巳

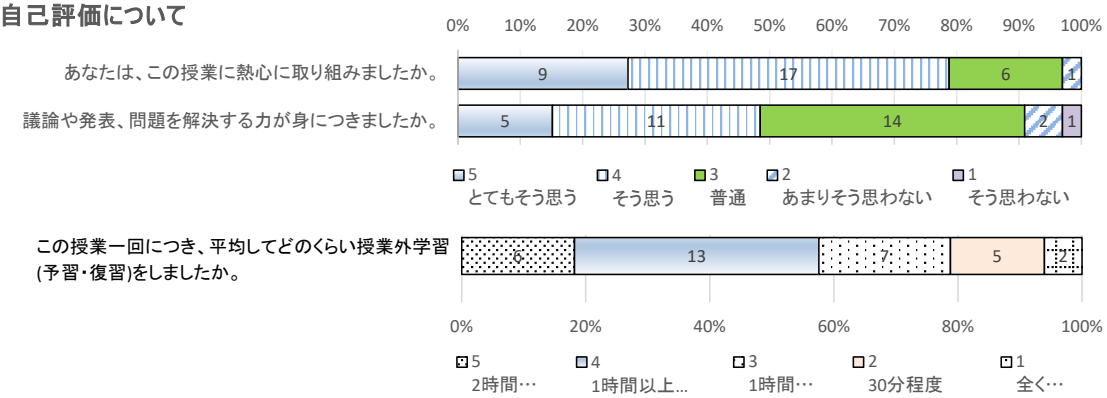
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	10	17	6	0	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	16	8	4	1	3.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	9	20	4	0	0	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	15	12	0	0	3.8
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	13	12	2	2	3.5
						総平均	3.8

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	9	17	6	1	0	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	11	14	2	1	3.5
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	6	13	7	5	2	3.5

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

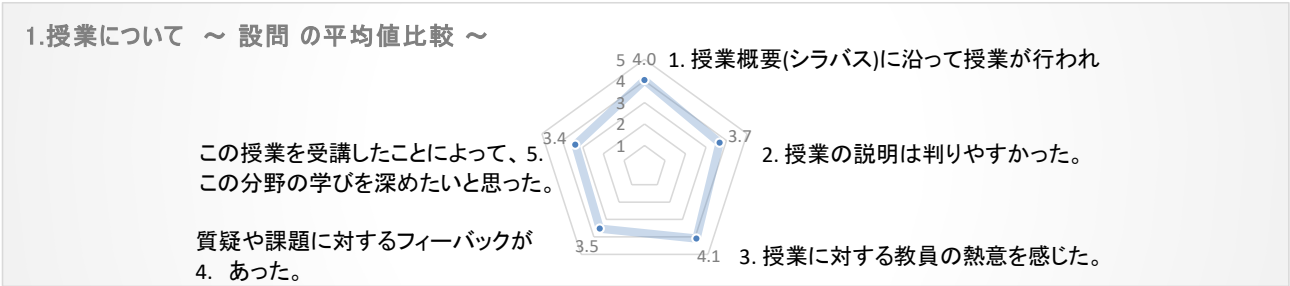
①現状(アンケート結果に対する考察)
説明が分かりにくかったとの指摘が多かった。一度の説明で実験の内容、とくに実験手順を理解するのが難しかった場合があったためと思われる。

②課題と展望(授業改善方策)
より平易な説明を心掛けるとともに、理解をしているかを確認しながら進めるようにしたい。

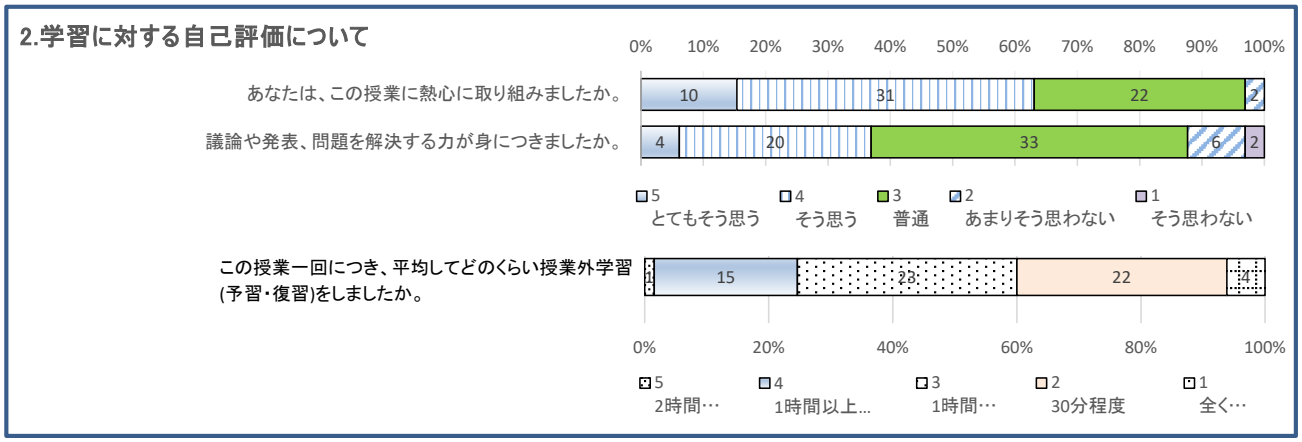
科目コード： 2204　　科目名 病理学　　回答者数： 65 名

学科・学年： 健2年 授業形態： 講義　　担当者 本藤 良

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	16	35	14	0	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	10	28	23	3	1	3.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	20	31	14	0	0	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	8	25	27	3	2	3.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	7	19	31	7	1	3.4
						総平均	3.7



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	10	31	22	2	0	3.8
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	20	33	6	2	3.3
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	15	23	22	4	2.8



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)：病理学は、一般に難易度の高い学科目であり、疾病の成り立ちを知る上で臨床領域とも深く係わる重要な基礎学科目である。学生諸君には、栄養士として、医療関連領域においても活用できる必要基礎知識を習得することと、他の関連専門学科目との整合性を図る上での資料として役立てるため、パーポイントとその配布プリントを基に講義を進めた。

アンケートの結果では、昨年度の各項目平均4.3ポイントに対比し、平均3.7ポイントと、0.6ポイントの低下があった。その起因の一つとして、コロナ禍による短縮授業の影響も考えられる。その点は、課題小レポートの提出で調整と補填を図り、講義目的をほぼ達成したものと 捉えている。学生の受講態度は概ね真面目で熱心であった。

②課題と展望(授業改善方策)

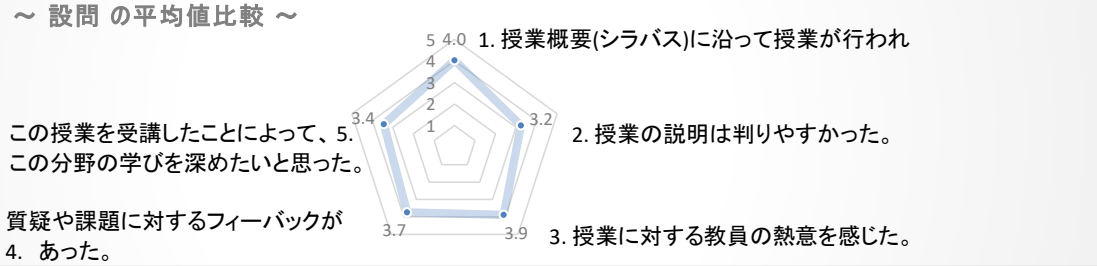
次年度においても、従来年度の授業方式で講義を実施したい。学生諸君には、事前に講義プリントを配布しますので、各自、予習と復習に勉め、理解度を高めることに期待する。

科目コード： 2205　　科目名 食品衛生学　　回答者数： 34 名

学科・学年： 健2年 授業形態： 講義　　担当者 砂川 誠

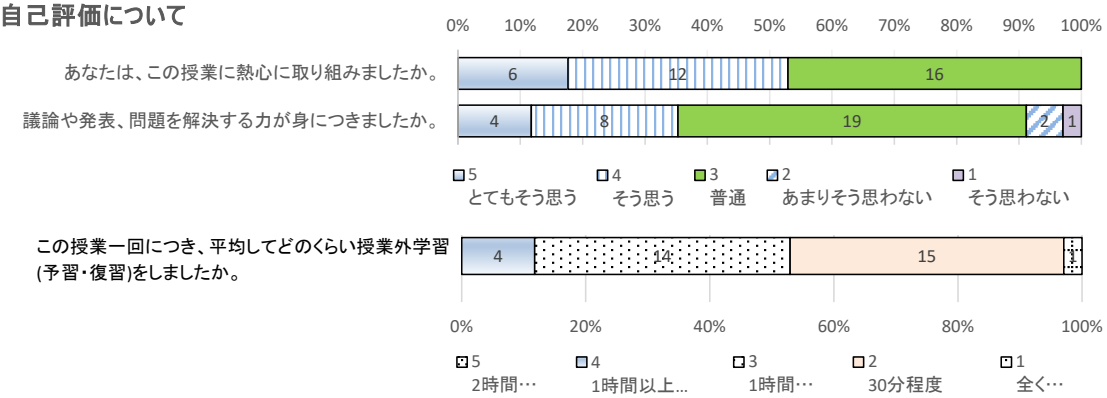
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	7	21	6	0	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	10	12	6	2	3.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	9	15	8	1	1	3.9
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	9	10	12	3	0	3.7
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	5	10	14	5	0	3.4
						総平均	3.7

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	6	12	16	0	0	3.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	8	19	2	1	3.4
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	14	15	1	2.6

2.学習に対する自己評価について



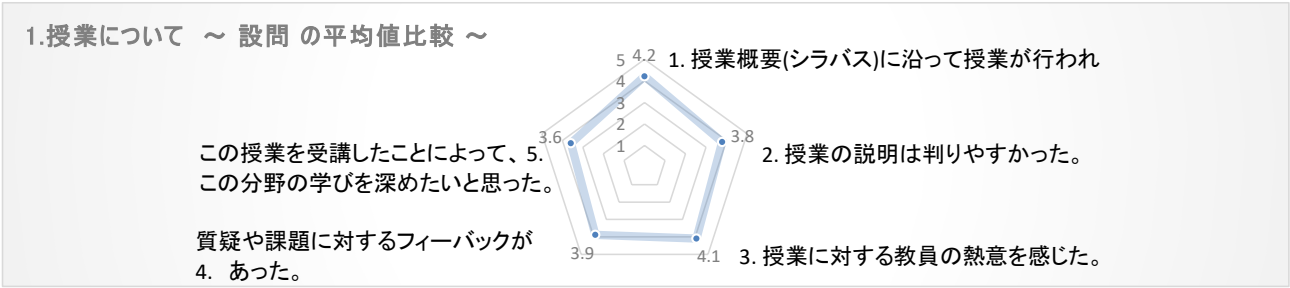
アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
今日の学習目標を示してから始めていますが、授業の説明が分かりにくいと感じたことは、90分用を60分で説明したことも一因かと思います。30分課題には多くの学生の解答があり、独創的な意見も多数ありました。また、調査確認(全員の結果を配布済み)も実施されました。
②課題と展望(授業改善方策)
講義内容が多いため、各回の内容の更なる縮小と要点の説明に十分な時間を取ることが必要と思います。学生が自主的に取り組みやすいように、引き続きレポートの提出を求めていきます。国内外における最近の食品事故事例、大きな食品関係事故のその後の状況などを例示することにより、社会への関心を持つようにしたい。

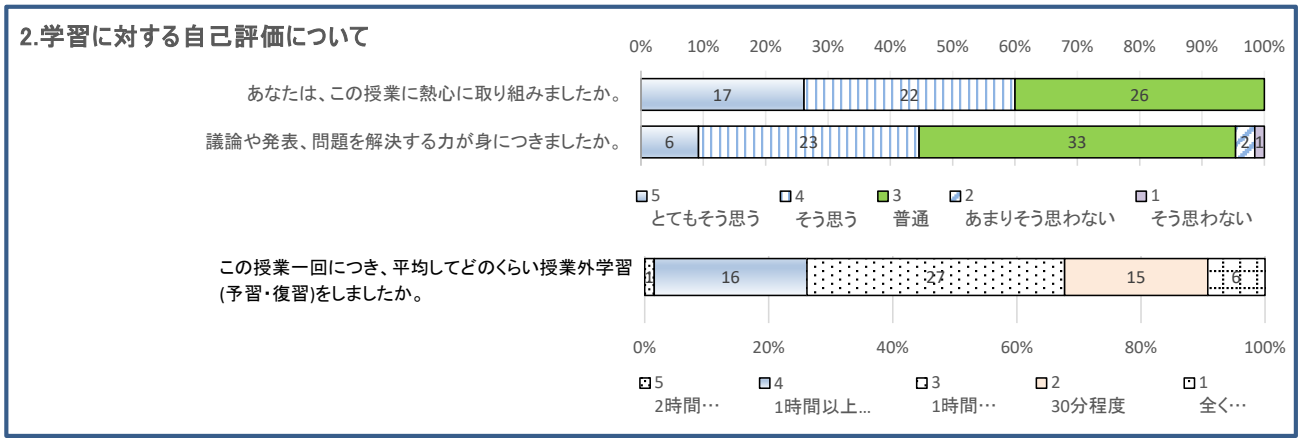
科目コード： 2206　　科目名 臨床栄養学各論　　回答者数： 65 名

学科・学年： 健2年 授業形態： 講義　　担当者 鈴木玉枝

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	26	29	9	0	1	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	17	25	15	8	0	3.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	24	23	18	0	0	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	20	19	24	2	0	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	11	23	25	5	1	3.6
						総平均	3.9



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	17	22	26	0	0	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	6	23	33	2	1	3.5
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	16	27	15	6	2.9



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
授業時間外学習についての取り組みの姿勢が今一つであった。受動的に学習する時間を設け、同時にフィードバックも可能とするため、アンケート集計のシステムを用いて課題提出としたため、何とか学習時間が確保できたものと考えております。学習到達度からみると、まだまだ学習時間の確保が必要と考えられます。

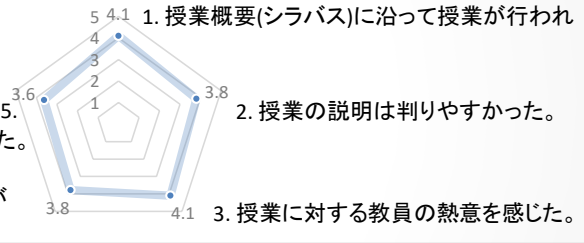
②課題と展望(授業改善方策)
本科目は、興味がなければ取り組みづらく、学習内容も複雑で単に記憶するだけでなく、応用させる力も身につける必要があります。臨床医学的な科目を履修していないため、その部分が補えるような授業内容としましたが、内容も範囲も多いため、更なる改善が必要だと思いました。

科目コード： 2207　　科目名 臨床栄養学実習Ⅰ　　回答者数： 40 名

学科・学年： 健2年 授業形態： 実習　　担当者 鈴木玉枝

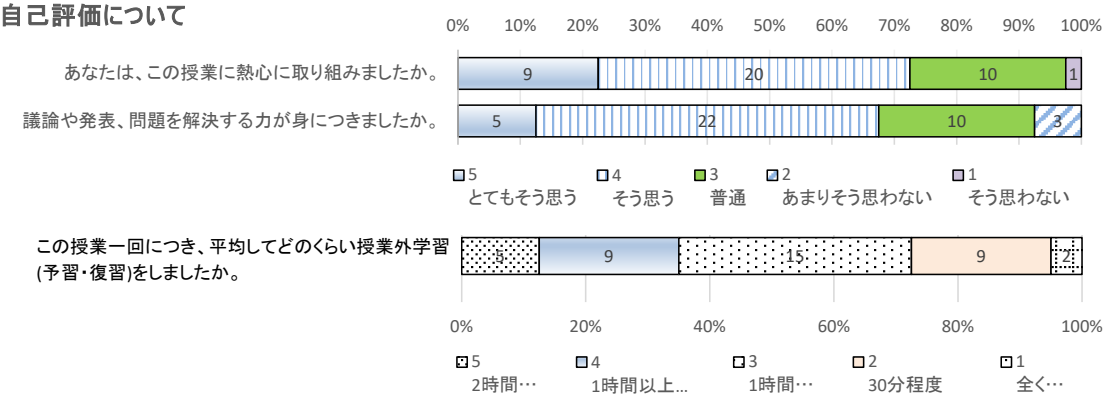
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	13	20	6	0	1	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	8	18	12	2	0	3.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	15	15	9	1	0	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	20	13	1	0	3.8
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	8	15	12	4	1	3.6
						総平均	3.9

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	9	20	10	0	1	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	22	10	3	0	3.7
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	5	9	15	9	2	3.2

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
授業時間外学習についての取り組みの姿勢が今一つであった。実習後には実習書の記入をするよう、受動的に学習する時間を設けておりますが、学習時間の確保が必要と考えられます。

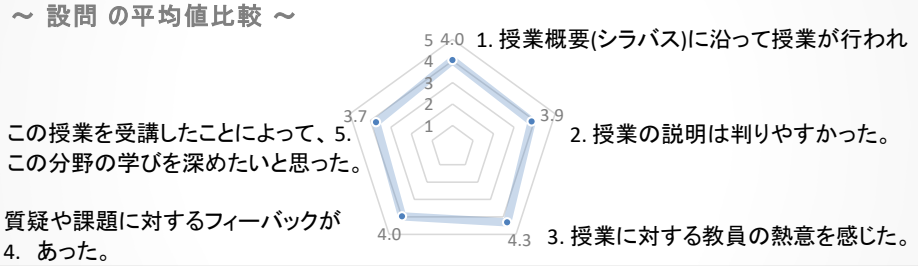
②課題と展望(授業改善方策)
臨床栄養学各論とリンクさせて、科目で学んだことを理解し、身につきやすいようシラバスを組んでおります。実習に備えての事前学習の時間が少ない傾向が見られたため、更なる指導が必要だと考えております。

科目コード: 2208　　科目名 栄養指導実習Ⅰ　　回答者数: 29 名

学科・学年: 健2年 授業形態: 実習　　担当者 冨重慶子

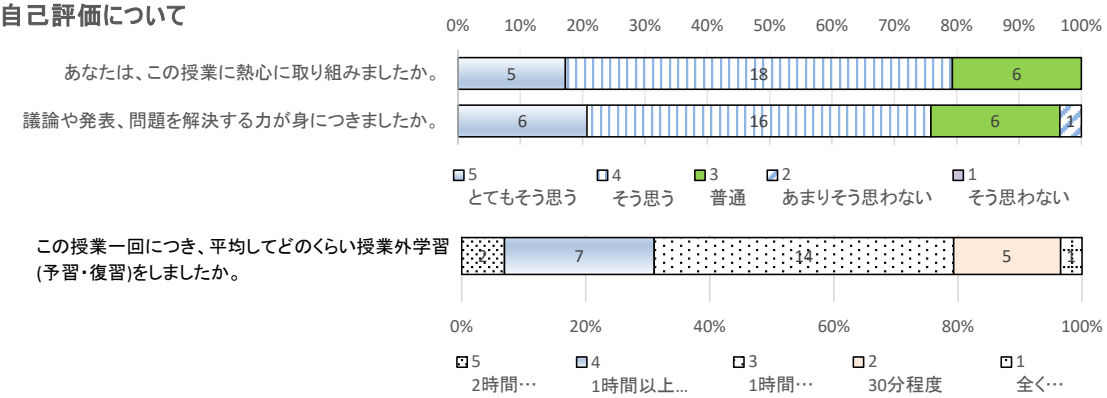
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	7	16	6	0	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	17	8	0	0	3.9
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	12	14	3	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	8	12	9	0	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	3	16	9	1	0	3.7
						総平均	4.0

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	5	18	6	0	0	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	6	16	6	1	0	3.9
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	7	14	5	1	3.1

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

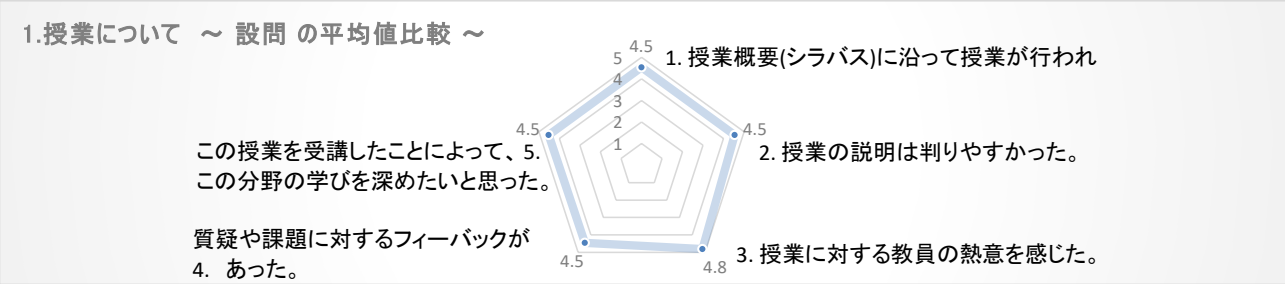
①現状(アンケート結果に対する考察)
授業内で作業するワークについて説明しながら順を追ってワークを進めたが、わからないとの質問を課題を提出する時に受けた。その学生に詳しく聞く と授業内での説明を聞いていなくて、わからないとの事だった。聞いていても十分な理解ができない場合もあるかもしれないが、聞いていないのは自己責任であると考える。しかし、このような学生を出さないためにも授業中のもっと細心の注意を払った目配りが必要と感じた。

②課題と展望(授業改善方策)
上記にも記載したが、ワークの内容を説明している時の学生の様子に細心の注意を払いたい。また、説明の仕方についても見直しをしていきたいと考えている。
また、通常授業の時間に戻っていたら場合になるが、授業最後にその日の課題を提出させ次の授業で説明とともに返却したいと考えている。本年度は、残りを課題としてしまったため、それが叶わなかった。

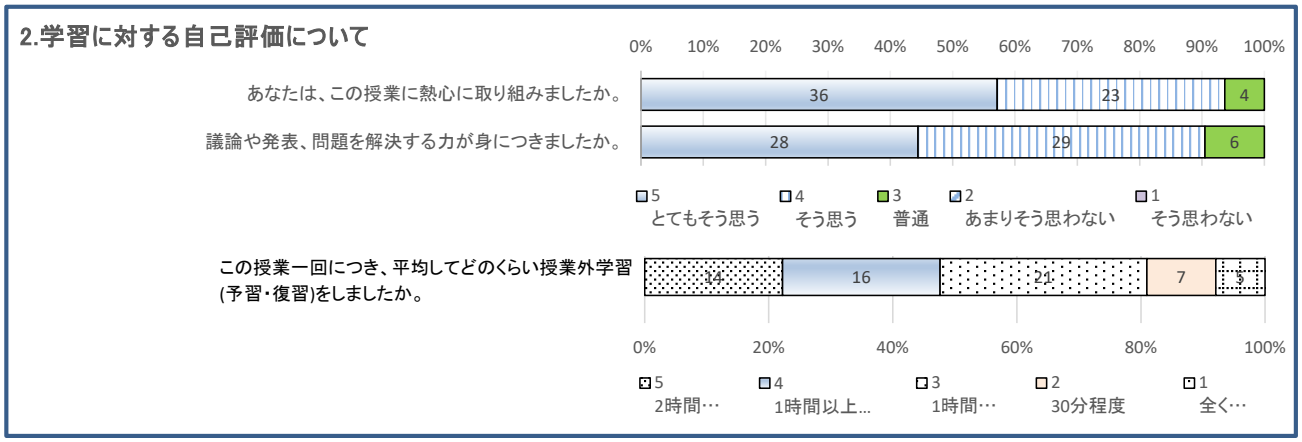
科目コード： 2209　　科目名 給食管理実習　　回答者数： 63 名

学科・学年： 健2年 授業形態： 実習　　担当者 大 雅世

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	35	27	1	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	37	23	3	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	52	10	1	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	35	22	6	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	37	23	2	1	0	4.5
						総平均	4.6



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	36	23	4	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	28	29	6	0	0	4.3
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	14	16	21	7	5	3.4



アンケートに対する教員所見

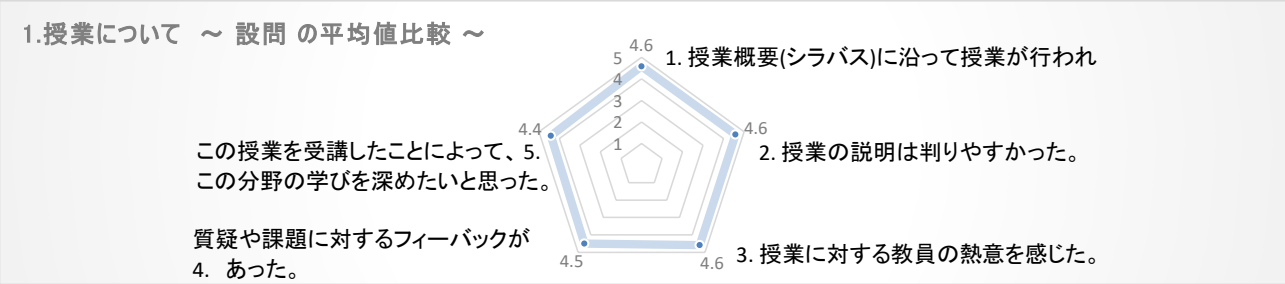
①現状(アンケート結果に対する考察)
　アンケート結果より、総平均は4.6であり、なんとか学生の満足度は保てたのではないかと推測し、「授業概要」の学習目標には到達できたのではないかと考えている。「授業に関する教員の熱意が感じた」の項目が4.8と最も評価が高かった。校外実習を意識して、献立作成や実技試験など繰り返し行ったことがその結果と考える。その他4.5と続いているが、熱意だけでなく、学生が理解を深められるよう、いかに修得できるか今後検討を続けたい。

②課題と展望(授業改善方策)
　グループワークということもあり、班で作業する内容に個人差がある。その内容を埋めるべく、献立作成のスキルを上げられるよう反復練習できる課題を考えたいと思う。

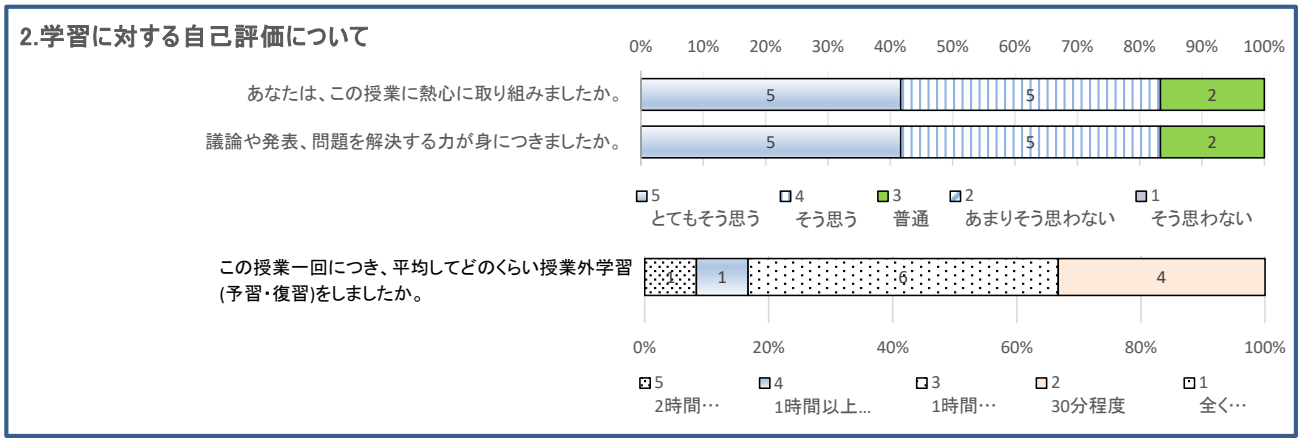
科目コード: 2211　　科目名 生徒指導・教育相談　　回答者数: 12 名

学科・学年: 健2年 授業形態: 講義　　担当者 馬場和久

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	7	5	0	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	7	5	0	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	8	3	1	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	7	4	1	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	6	5	1	0	0	4.4
						総平均	4.5



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	5	5	2	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	5	2	0	0	4.3
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	6	4	0	2.9



アンケートに対する教員所見

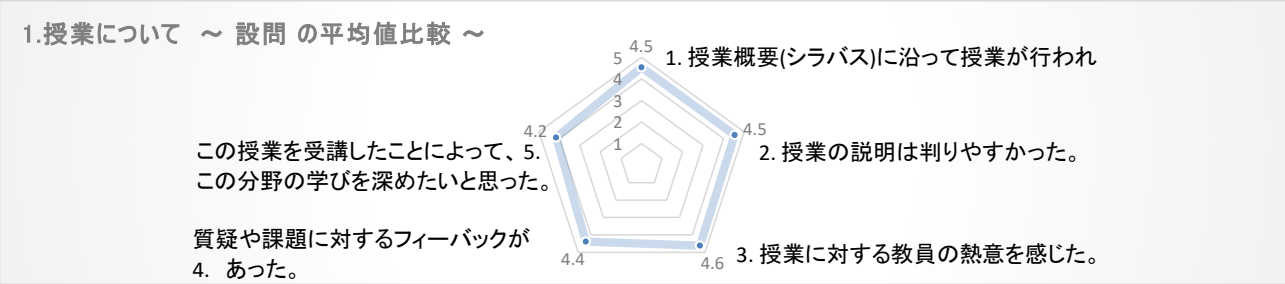
①現状(アンケート結果に対する考察)
・多くの学生の教育実習前が後期の9月スタートすることから、実習に役立つような内容にすべく授業を行ってきたためか、学生の学修に向かう姿勢が大変よく、かなりの成果も得られたと実感している。

②課題と展望(授業改善方策)
・コロナ禍にあって、すべての時間、対面で授業ができたことの成果は大きいと考えているが、今後オンライン授業が導入されるようであれば、授業方法の工夫が必要であると考えている。

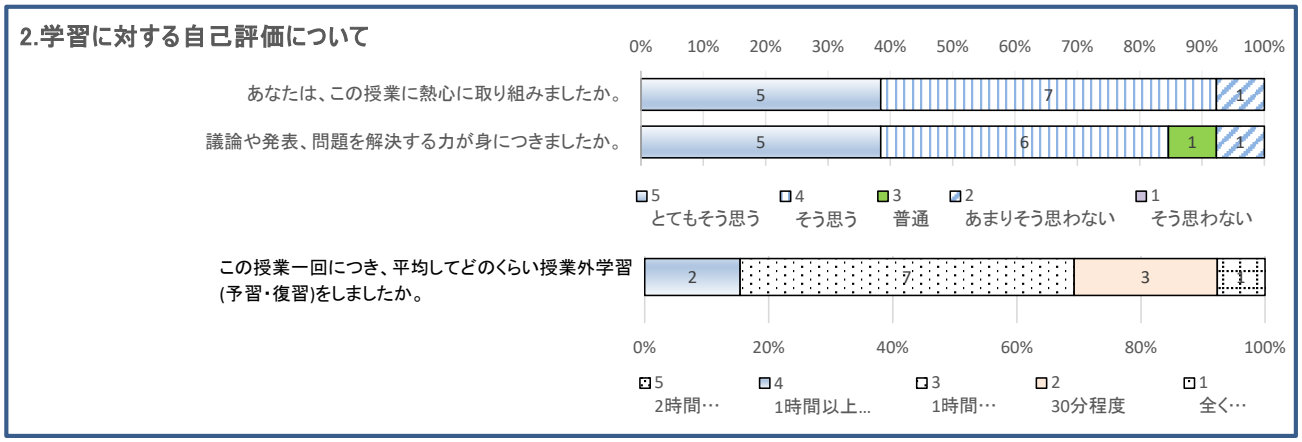
科目コード: 2212　　科目名 教育方法　　回答者数: 13 名

学科・学年: 健2年 授業形態: 講義　　担当者 馬場和久

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	9	2	2	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	8	4	1	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	9	3	1	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	6	1	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	7	2	0	0	4.2
						総平均	4.4



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	5	7	0	1	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	6	1	1	0	4.2
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	2	7	3	1	2.8



アンケートに対する教員所見

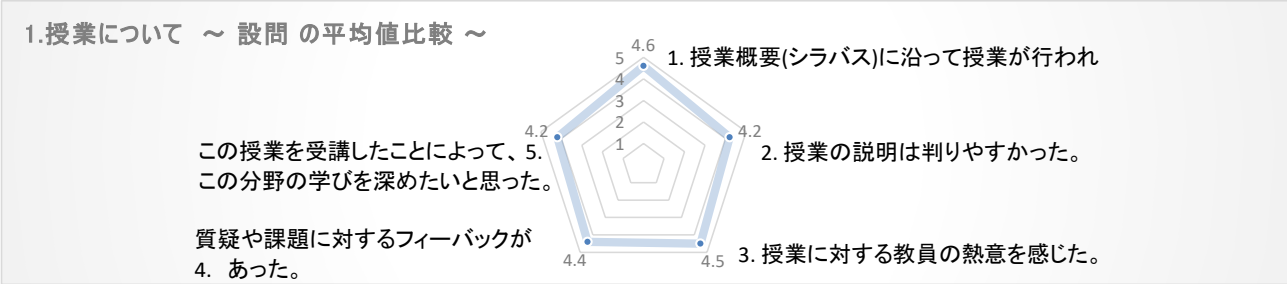
①現状(アンケート結果に対する考察)
・全体としては一定の学修効果が収められたと捉えている。教職科目ということで履修人数も少なく(14名)、比較的学ぶ意識の高い学生の集まりであることから授業に臨む姿勢も優れていたと考える。一方、この科目の学びを深めたいかという質問に対して平均が4.2と他の項目に比べてやや低い結果になったのは、全員が資格取得に止まっており、実際に栄養教諭を目指していないということからの結果であろう。

②課題と展望(授業改善方策)
・主に2学期に集中して行われる教育実習を意識し、栄養教諭としての授業の在り方に重きを置いて、具体的な指導法に学ぶ授業を意識的に進めてきたが、今後、さらに教育の現状や今日的課題等についても深く踏み込んで展開していきたいと考えている。

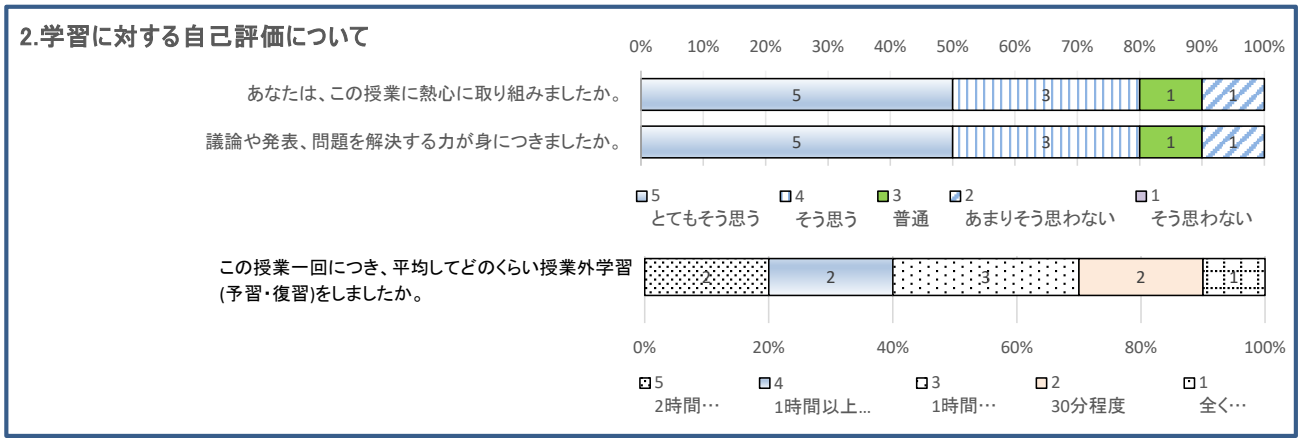
科目コード： 2213　　科目名 栄養教育実習　　回答者数： 10 名

学科・学年： 健2年 授業形態： 実習　　担当者 鈴木玉枝

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	6	4	0	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	4	2	0	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	6	3	1	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	5	4	1	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	5	2	3	0	0	4.2
						総平均	4.4



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	5	3	1	1	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	3	1	1	0	4.2
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	2	3	2	1	3.2



アンケートに対する教員所見

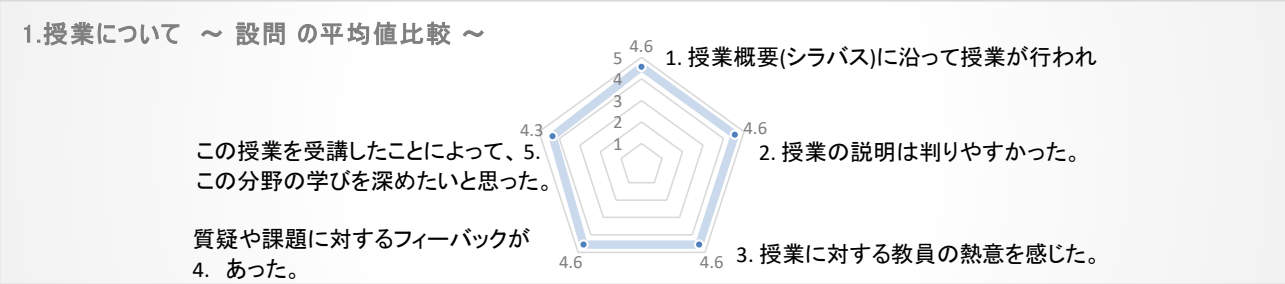
①現状(アンケート結果に対する考察)
　前半は教育実習の心構えや内容、実際に行われている食育の指導などについての講義で、後半は研究授業を行うための学内での模擬授業を行った。授業時間外学習時間が少ないため、学習時間が確保されるよう取り組む必要があると考えております。

②課題と展望(授業改善方策)
　学生自身が学習時間の確保が必要だと考えられるような授業内容として、課題を提示できるよう心掛けます。

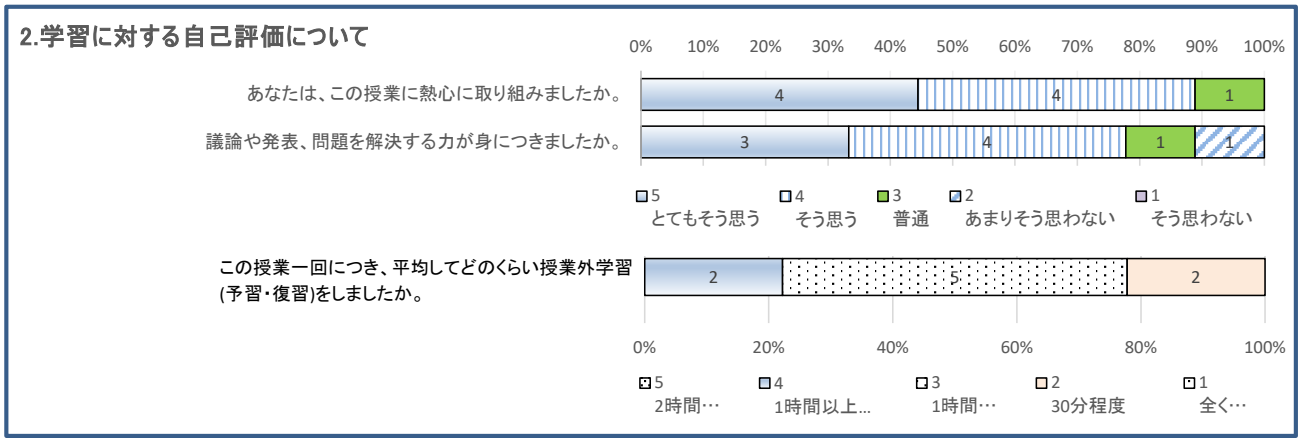
科目コード: 2214　　科目名 フードコーディネート論　　回答者数: 9 名

学科・学年: 健2年 授業形態: 講義　　担当者 古俣智江

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	4	0	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	4	0	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	5	4	0	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	5	4	0	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	4	1	0	0	4.3
						総平均	4.5



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	4	4	1	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	4	1	1	0	4.0
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	2	5	2	0	3.0



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
本授業は、フードスペシャリスト資格試験を受験希望の学生が主に受講している。今年度は22名の受講者の授業となったが、学生たちは真剣に真面目に授業を受講してくれた。本授業は資格試験合格のための授業に焦点を絞ったため、浅く広くという講義内容になった。さらに興味・関心を持てるような授業を展開できるように来年度以降の授業内容を考えていきたい(総平均4.5)。

②課題と展望(授業改善方策)
本授業は栄養士免許(令和3年度は食物栄養専攻の学生のみ履修)を取得する学生たちにとっては浅く広くの学習内容となっている。今年度の授業は圧縮授業フードだったため、例年実施しているテーブルコーディネート課題が実施できなかったことが残念で会った。しかしながら、時間の制約がある中で、講義内容を吟味したうえで講義プリントを作成し、それを用いて授業を行った。今年度も毎年同様、フードスペシャリスト資格試験合格に向けて導いていきたい。

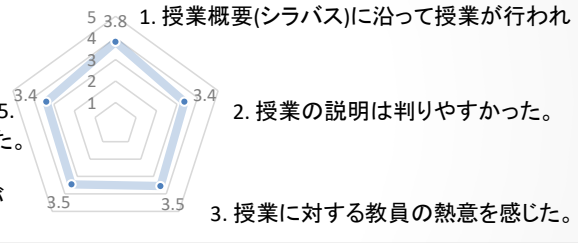
科目コード: 5201　　科目名 食生活と健康Ⅱ　　回答者数: 11 名

学科・学年: 健2年 授業形態: 講義　　担当者 冨重・雨宮

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	2	5	4	0	0	3.8
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	1	3	6	1	0	3.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	2	3	5	1	0	3.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	1	4	5	1	0	3.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	0	6	3	2	0	3.4

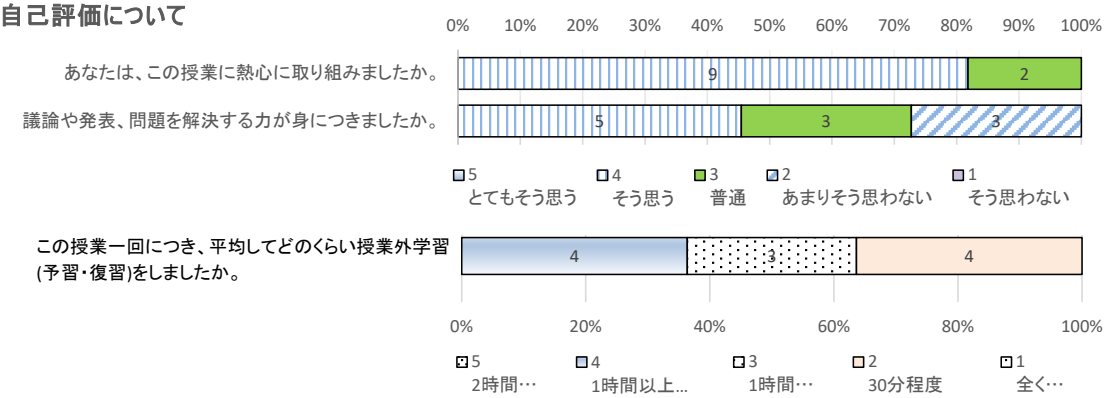
総平均	3.5

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	0	9	2	0	0	3.8
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	0	5	3	3	0	3.2
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	3	4	0	3.0

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

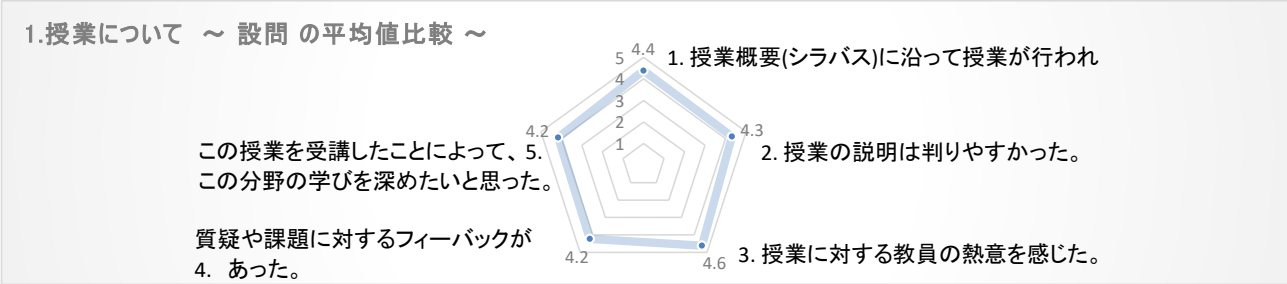
①現状(アンケート結果に対する考察)
　一回の授業範囲が狭いため、どうしても内容が深く詳細になってしまった。そのため難しく理解しづらい箇所も多々あったと考えられる。
また、時間的なこともあり十分なフィードバックを行えなかったため、このような結果が出たと考えている。

②課題と展望(授業改善方策)
　来年度がどのような状況になっているか予測はできないが、通常授業になっていれば小テストを実施しながら理解度を深めていきたいと考
　えている。 次の授業での小テスト返却時に、復習を兼ねて説明を行う予定である。

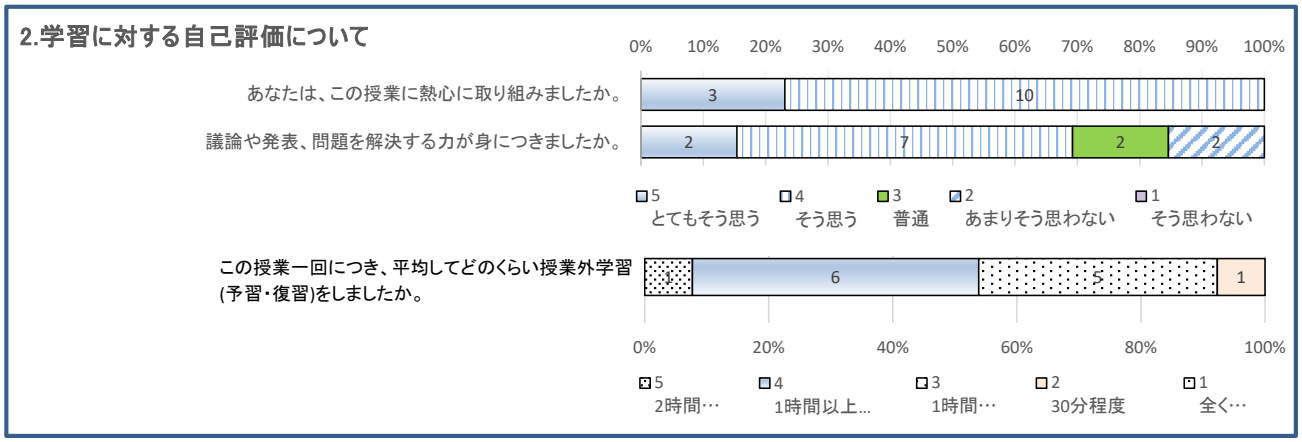
科目コード： 5202　　科目名 栄養の特性Ⅲ　　回答者数： 13 名

学科・学年： 健2年 授業形態： 講義　　担当者 西條奈緒美

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	8	0	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	6	5	2	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	8	5	0	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	7	4	0	2	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	3	9	1	0	0	4.2
						総平均	4.3



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	3	10	0	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	2	7	2	2	0	3.7
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	6	5	1	0	3.5



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
　ポイントについて、それぞれの設問および総平均を見ると高めのポイントと感じる。しかし、設問ごとに見ると、「フィードバック」に対して「あまりそう思わない」の評価が見られる。それに対する配慮が必要と感じる。

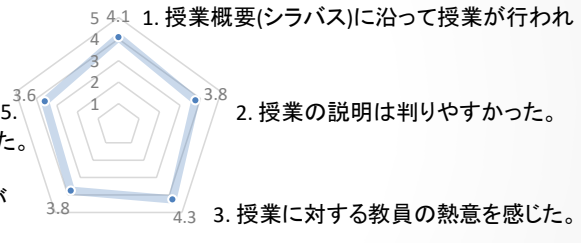
②課題と展望(授業改善方策)
　本科目は当該学生が学んできたさまざまな科目の知識を全体的にふまえて進める上に課題も多く、とても大変だったと感じる。しかし、学生は大変努力していた。それにもかかわらず、授業時間の都合上、適切に「フィードバック」できていないことも多々あったと自身でも感じている。
　授業をただ進めるだけで良いのではなく、「フィードバック」を適切なタイミングで行うことがとても重要と感じる。それゆえ、そのことをふまえて、学生の様子をしっかり観察し、コミュニケーションをとって授業を進められるよう研鑽したい。

科目コード: 5203　　科目名 食品の安全と衛生Ⅲ　　回答者数: 12 名

学科・学年: 健2年 授業形態: 講義　　担当者 田中章・雨宮

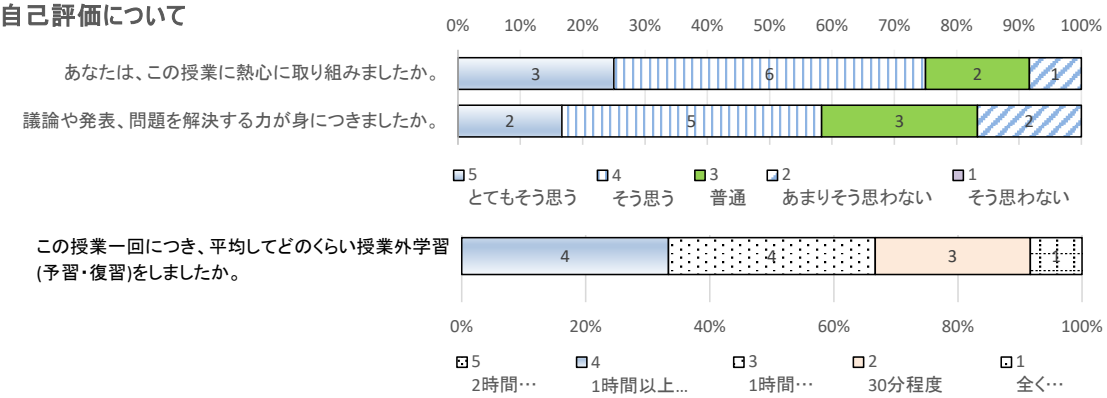
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	3	4	0	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	3	3	6	0	0	3.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	5	5	2	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	2	5	5	0	0	3.8
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	2	4	5	1	0	3.6
						総平均	3.9

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	3	6	2	1	0	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	2	5	3	2	0	3.6
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	4	3	1	2.9

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

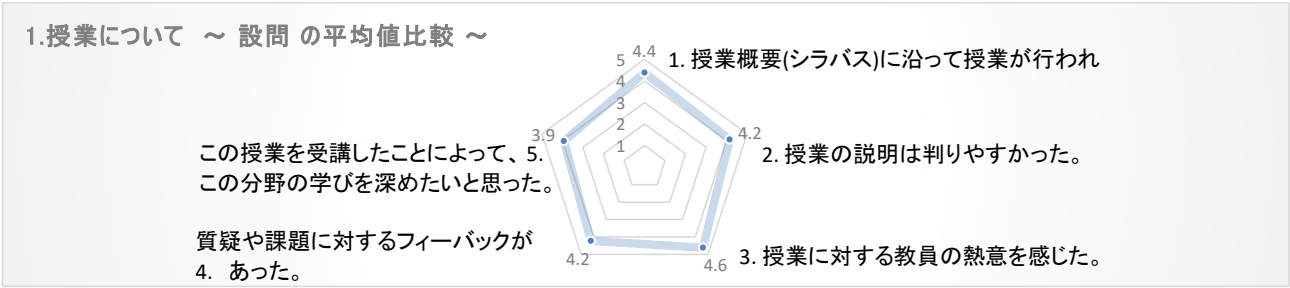
①現状(アンケート結果に対する考察)
本科目は食品の安全性と衛生に関する内容であり、特に調理師を目指す者にとっては 現場で必要となる重要な知識を多く学ぶ講義である。講義のたびに、幾度どもこれらの重要性と意義について講義したにもかかわらず、コロナ下の精神的あるいは実習の疲労のせいだろうか、注意しても眠っている学生が散見されたのは極めて残念であった。さらに調理師の現場での働きに必要な大切な課題を出題したにもかかわらず、提出期限に提出しないあるいはできない学生がいたが、アンケート結果をみて、予習や復習を30分以下あるいは全くしていない学生がいることに非常に驚いている。

②課題と展望(授業改善方策)
定期試験問題に、「調理場の床は常時に湿っている方が良い」との問いに〇をつけた学生が半分もいたのには驚いた。微生物の繁殖条件をまるで理解していない学生がいるということである。このような学生が、卒業後、調理師として現場で働くことに極めて憂慮する。来年の学生にはこのような事態とならないよう、本科目を通じてさらに厳しく鍛えていきたい。

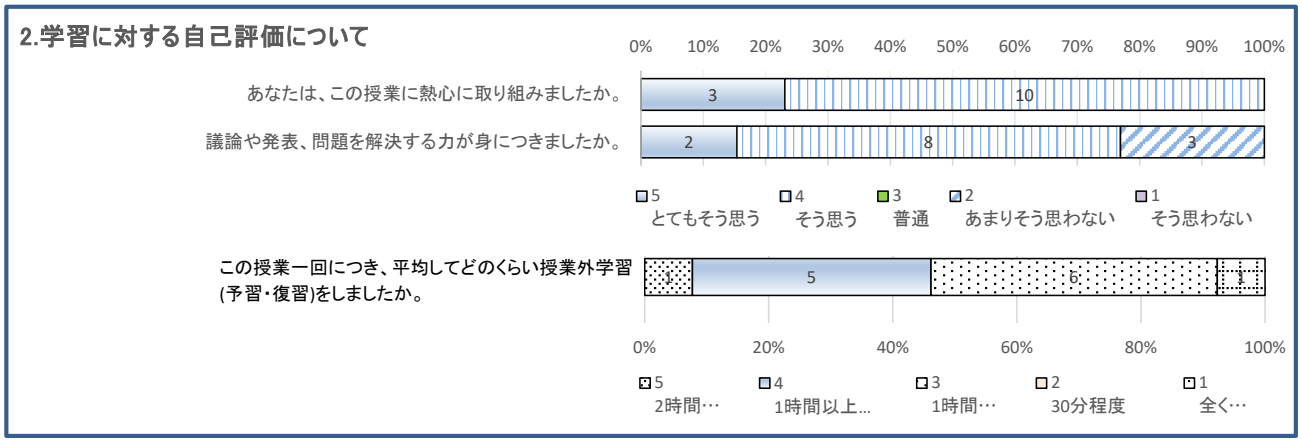
科目コード： 5204　　科目名 調理理論Ⅲ　　回答者数： 13 名

学科・学年： 健2年 授業形態： 講義　　担当者 西條奈緒美

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	6	6	1	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	7	2	0	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	8	5	0	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	7	4	0	2	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	2	8	3	0	0	3.9
						総平均	4.3



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	3	10	0	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	2	8	0	3	0	3.7
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	5	6	0	1	3.4



アンケートに対する教員所見

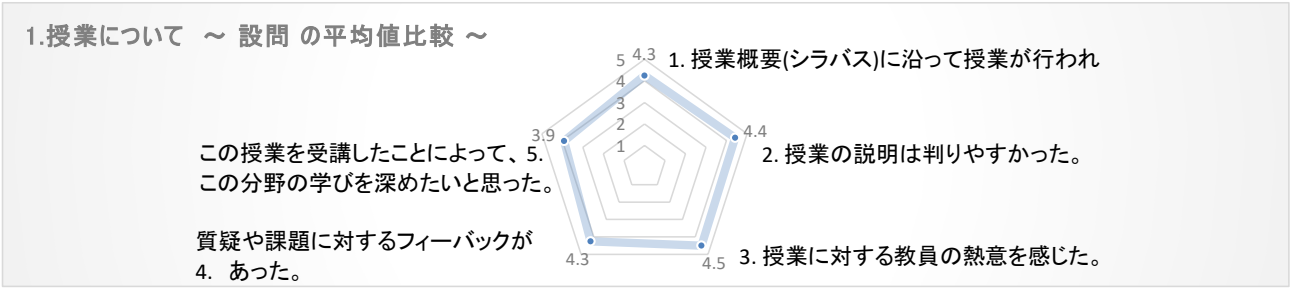
①現状(アンケート結果に対する考察)
　ポイントについて、それぞれの設問および総平均を見ると高めのポイントと感じるが、設問ごとに見ると、「フィードバック」に対して「あまりそう思わない」の評価が見られる。「フィードバック」に対しては回答者全体で見ると「とてもそう思う」と答えている学生が半分以上である。全体的には満足度が高かったと感じるが、学生個人の感じ方は異なるため、それに対する配慮をしなければならない。

②課題と展望(授業改善方策)
　本科目に関しては、「フィードバック」してきたと感じている。アンケート結果でも満足している学生のほうが多い。しかし、受け止め方は学生個々によって異なるため、それぞれの学生に対しての観察と配慮が必要と感じる。
　その一方、当該クラスは2科目担当しているが、もう1科目と比較して評価がほぼ同じであることを考えると、両科目をふまえての回答のようにも感じられる。
　いずれしても、学生が求めるものを模索し、学生とのコミュニケーションをしっかりとり、授業を進める配慮が必要である。
　当該学生の学科としては本科目の学びを深めることはとても意義があると感じるため「学びを深めたい」と思う学生を増やせるよう研鑽していきたい。

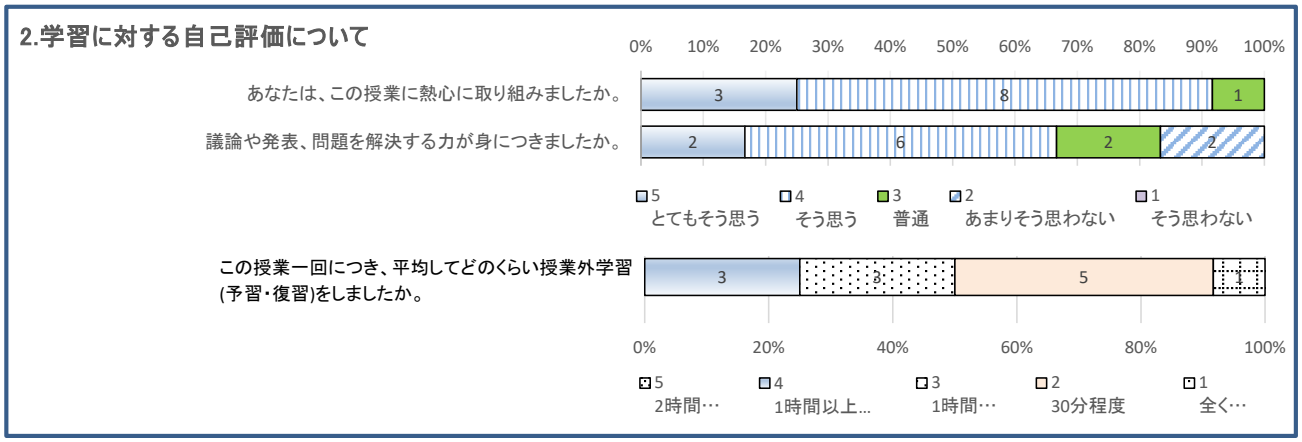
科目コード: 5205　　科目名 総合調理実習Ⅰ　　回答者数: 12 名

学科・学年: 健2年 授業形態: 実習　　担当者 田中辰也

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	5	2	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	7	0	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	6	6	0	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	4	7	1	0	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	5	1	6	0	0	3.9
						総平均	4.3



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	3	8	1	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	2	6	2	2	0	3.7
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	3	3	5	1	2.7



アンケートに対する教員所見

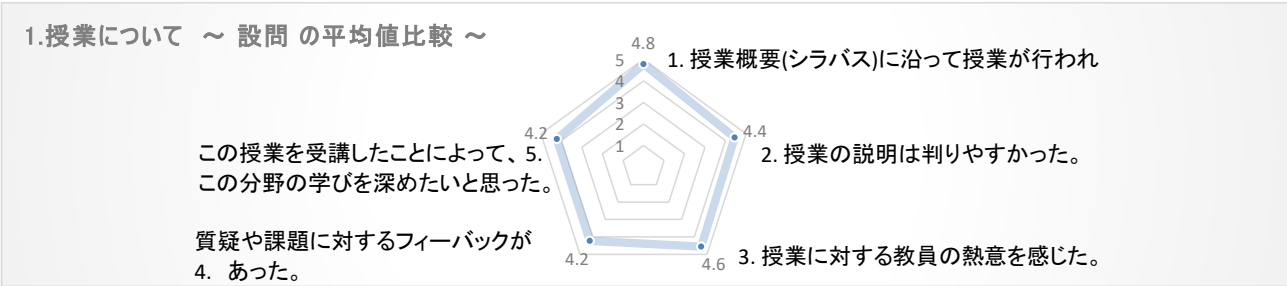
①現状(アンケート結果に対する考察)
　アンケート結果より、総平均が4.3であり、授業概要の学習目標に到達できたと考えている。
　今年度は30分課題があり学生個々の理解度を確認しながら授業を行うことができた。今後は学生が更に興味関心を持つ内容を検討し、更に理解度を高めていきたいと考えている。

②課題と展望(授業改善方策)
　大量調理についての専門的な内容を多く取り入、進路の参考になるような授業を行っていきたい。総合的な学習として授業を展開しておりグループワークも多く取り入れているためコミュニケーションスキルを向上させる内容を取り入れていく必要性があると考えている。

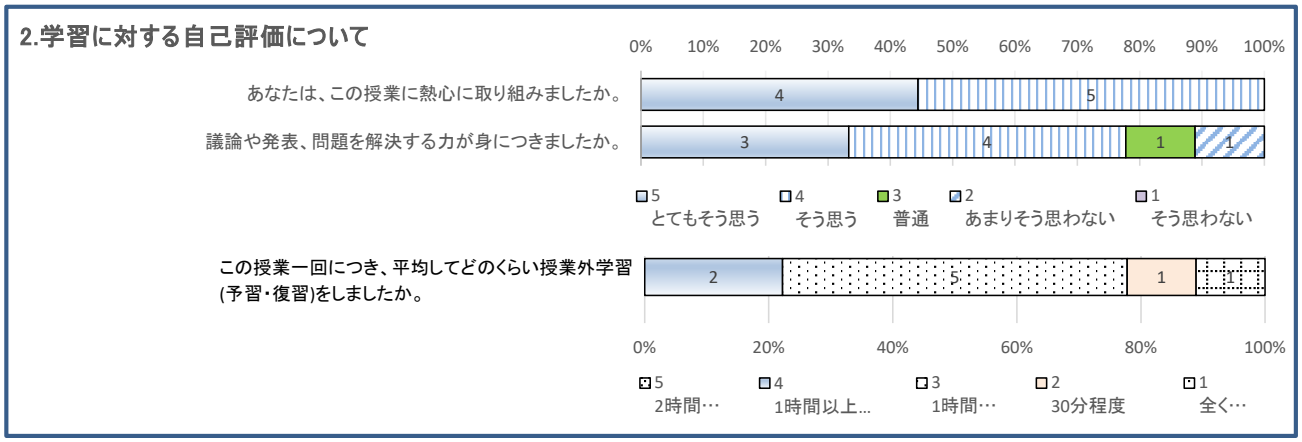
科目コード: 5207　　科目名 専門別調理実習 日本料理Ⅰ　　回答者数: 9 名

学科・学年: 健2年 授業形態: 実習　　担当者 福田 馨(他)

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	7	2	0	0	0	4.8
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	5	0	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	5	4	0	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	3	5	1	0	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	3	5	1	0	0	4.2
						総平均	4.4



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	4	5	0	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	4	1	1	0	4.0
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	2	5	1	1	2.9



アンケートに対する教員所見

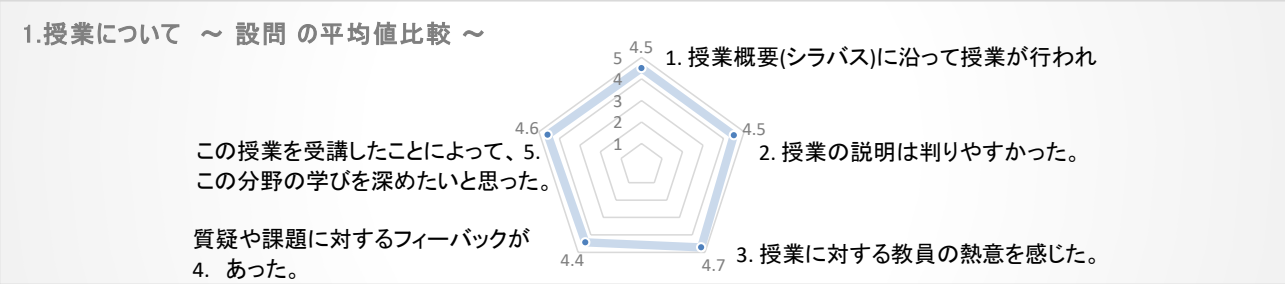
①現状(アンケート結果に対する考察)
　総平均は4.4ポイントであり、学生の授業に対する満足度は概ね保たれおり、「授業概要」の学習目標に到達できたと考えている。授業時間外での取組みが2.9と低いことは、後期授業に向けて検討が必要と考える。

②課題と展望(授業改善方策)
　複数の担当教員で実習を行っているため、学生の技術修得が確認し難いことが課題。学生個々の観察をもとに各担当教員との連携を高めながら、技術習得支援を続ける。そのために、授業時間外に積極的に実技練習を取組めるよう環境面も整えたい。

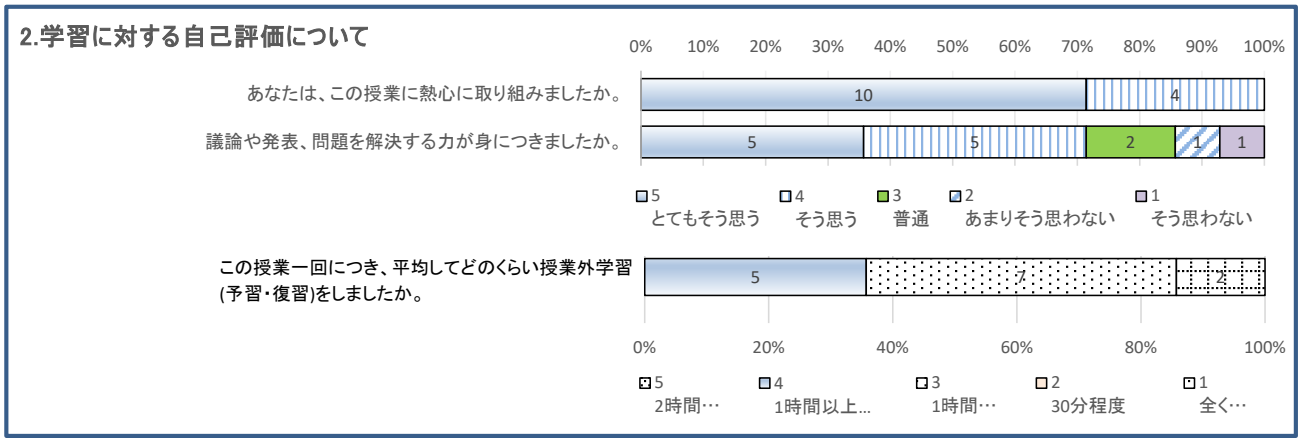
科目コード: 5208　　科目名 専門別調理実習 西洋料理Ⅰ　　回答者数: 14 名

学科・学年: 健2年 授業形態: 実習　　担当者 田中祐作

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	8	5	1	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	9	3	2	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	10	4	0	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	7	6	1	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	8	6	0	0	0	4.6
						総平均	4.5



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	10	4	0	0	0	4.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	5	2	1	1	3.9
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	5	7	0	2	3.1



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
　一年次の調理実習での学びが身につきスムーズに作業工程でもあり、実習グループを毎回変えてどの様な状況にてもチームワークを取り実習作業を行っている。 学生自身が技術・知識などが必要と考えながら実習を行っていた。
②課題と展望(授業改善方策)
　調理師として技術・知識・衛生観念を身に付け、基本を忘れず独自性のアイデアを表現できる様な調理師を目指し重要ポイントには、適切にゆっくりと解りやすく説明していく。技術的にもバラツキがあり、適切に対応しこれからの職場に適用するレベルアップに繋がる指導をする。

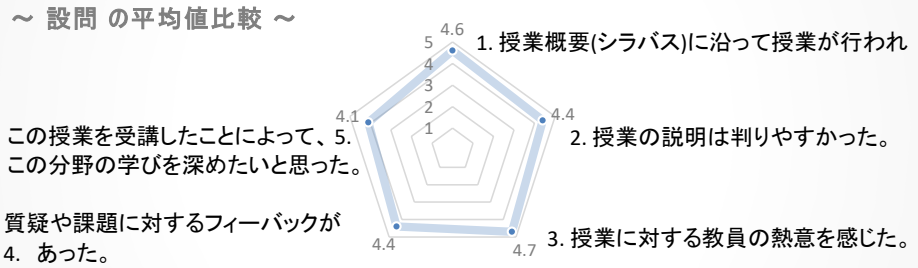
科目コード: 5209　　科目名 専門別調理実習 中国料理Ⅰ　　回答者数: 10 名

学科・学年: 健2年 授業形態: 実習　　担当者 大越光雄

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	6	4	0	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	4	1	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	7	3	0	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	5	4	1	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	5	3	1	0	1	4.1

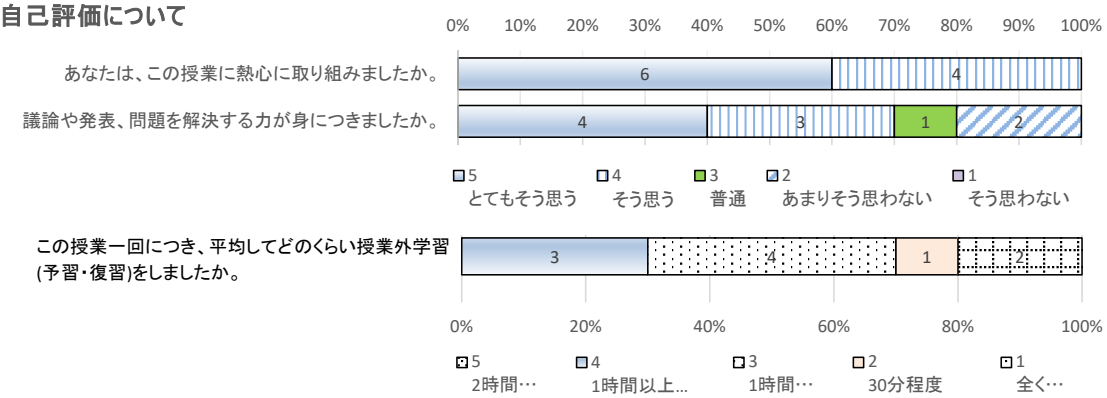
総平均	4.4

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	6	4	0	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	3	1	2	0	3.9
	項目	5 2時間以上	4 1時間以上2時間未満	3 1時間未満	2 30分程度	1 全くしていない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	3	4	1	2	2.8

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
当教科は、1年次の調理実習授業で学んだ内容を基に、学生が興味ある調理分野についてより深く学習し、高度な技術と専門的な知識を身につけることを目標として授業を展開した。全設問の総合評価は4.4と、概ね授業内容が理解できたものと思われるが、さらに興味を引きだし、意欲的に授業に臨ませるために工夫をしていきたい。

②課題と展望(授業改善方策)
設問Ⅱでは、学生が興味を持って取り組んだ結果ではあるが、調理技術ｺﾝｸｰﾙ全国大会ﾚﾍﾞﾙからすると、、基本的な技術面や応用技術に至るまで、更に向上できる指導の必要性を感じている。また、技術面でのﾚﾍﾞﾙｱｯﾌﾟのみならず、現場で求められる調理師として相応しい人間性なども含め丁寧に指導していきたい。学生たちは謙虚な姿勢で真面目に授業に取り組んでいることから、今後も不得意な技術の習得に貪欲に取り組めるように個々の学生に対して的確な指導助言をしていきたい。